

年報

令和5年度事業概要

43
2024



公益財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団

縄文時代の列石と竪穴建物
(柳沢遺跡 吾妻郡東吾妻町新巻地内)

上信自動車道建設事業に伴い、令和5年度から柳沢遺跡の発掘調査が実施されている。本遺跡は、1983年に東村教育委員会(現東吾妻町教育委員会)により発掘調査が行われ、縄文時代の遺構・遺物が多数発見されている。榛名山北麓、吾妻川右岸の上位段丘面上に立地し、標高は360m前後を測る。北西側には深い谷が入り込んでおり、この谷を隔てた対岸には縄文時代前期の集落が確認された月夜野A遺跡がある。

縄文時代の遺構は、北側へ下る緩傾斜地に位置し、前期から中期の遺構を中心としている。中期では列石を構築した時期と、竪穴建物を中心とした時期に分かれる。列石は中期末葉の加曾利E4式期に帰属する。全長は約20mで、等高線に並行する形で2列確認された。祭祀的な役割があり、マツリや儀礼などの場として利用されたと考えられる。竪穴建物を中心とした時期は、中期後葉の加曾利E1～E3式期で、25棟の竪穴建物が確認された。集落として生活が営まれていた後も、列石や竪穴建物などの構築が確認されていることから、長期的に集落が営まれたことがわかる。

序

当事業団は、令和5年7月に創立45周年を迎えることができました。昭和53年7月に創立されて以来、群馬県内の埋蔵文化財の発掘調査及び研究を行うとともに、埋蔵文化財保護思想の涵養と普及を図り、県民文化の振興と発展に寄与してまいりました。

令和5年度は、発掘調査事業では、国土交通省関連で5遺跡、公共事業関連で28遺跡の合計33遺跡の発掘調査を実施いたしました。現在、上信自動車道建設事業に伴って東吾妻町で多くの遺跡を発掘調査していますが、柳沢遺跡での列石と竪穴建物で構成された縄文時代の集落、小田沢遺跡での6世紀初頭の榛名山噴火による火山灰で埋没した古墳時代の水田跡など、注目される発見がありました。

整理事業では、国土交通省関連で4遺跡、公共事業関連で25遺跡の合計29遺跡の整理作業を実施し、合計16冊の発掘調査報告書を刊行いたしました。創立以来積み重ねてきた発掘調査報告書の刊行総数は、令和5年度末で第741集に達しました。

普及啓発事業では、学校への講師派遣や夏休み親子宿題教室等により古代体験の普及活動を行い、最新情報展やぐんま遺跡報告会、公開普及デーを実施して発掘調査成果の発信に努めました。また、創立45周年記念事業の一環として、ぐんま考古学講座では城郭考古学者の千田嘉博先生による記念講演会「埋蔵文化財と城郭考古学」を実施し、好評を博しました。さらに、発掘情報館の収蔵展示室をリニューアルし、新たな研究成果を踏まえて展示内容を一新しました。併せて、展示解説図録『収蔵展示室展示解説—時代が変わる 道具も変わる—』も作成しました。

当事業団は、これからも発掘調査、整理事業及び普及啓発事業の実施によって、県民文化の振興と発展に引き続き寄与してまいります。今後とも変わらぬ御理解と御協力を心からお願い申し上げます、序といたします。

令和6年9月

公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

理事長 向田忠正

例 言

1. 本書は、公益財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団の令和5年度の事業概要をまとめたものである。
2. 付篇は、県及び県内各市町村の協力によって作成された資料に基づいて、当事業団年報紀要委員会が編集した。
3. 本年報編集は、当事業団年報紀要委員会が行った。その構成は以下のとおりである。
委員長：関口博幸(資料1課長(総括))
委員：橋本 淳(資料2課主任調査研究員・資料統括)
齊田智彦(資料1課主任調査研究員)
山中 豊(資料1課主任調査研究員)
高島英之(資料1課専門員(総括))
鈴木佑太郎(資料2課専門員(主任))
板垣詩乃(普及課専門員(主任))
事務局：八木博美(総務部経理課主幹)

凡 例

各遺跡の調査概要中に記載する火山噴出物堆積層等の名称と年代は以下のとおりである。

- ・天明泥流：1783(天明3)年の浅間山噴火に伴う泥流
- ・As-A : 1783(天明3)年降下 浅間Aテフラ
- ・As-Kk : 1128(大治3)年降下 浅間粕川テフラ
- ・As-B : 1108(天仁元)年降下 浅間Bテフラ
- ・Hr-FP : 6世紀中葉降下 榛名山ニッ岳伊香保テフラ
- ・Hr-FA : 6世紀初頭降下 榛名山ニッ岳渋川テフラ
- ・As-C : 3世紀末降下 浅間Cテフラ
- ・As-YPk : 1.6万年前降下 浅間草津テフラ
- ・As-YP : 1.6万年前降下 浅間板鼻黄色テフラ
- ・As-Sr : 2.2万年前降下 浅間白糸テフラ
- ・As-BP : 2.7~2.3万年前降下 浅間板鼻褐色テフラ

目 次

序	
I 事業団の概要	1
1 設立の趣旨	1
2 目的	1
3 沿革	1
4 組織・名簿	2
5 理事会及び評議員会等の開催状況	4
6 令和5年度主要行事	6
7 会計経理の状況	6
II 事業概要	7
1 発掘調査事業概要	7
(1)幹線交通関連埋蔵文化財発掘調査	7
(2)公共開発関連埋蔵文化財発掘調査	7
2 整理事業概要	9
(1)幹線交通関連埋蔵文化財整理事業	9
(2)公共開発関連埋蔵文化財整理事業	9
3 普及事業概要	11
(1)資料と施設の公開	11
(2)指導者の派遣	18
(3)情報誌等の刊行	18
(4)資料の保存	20
III 研究活動概要	20
1 職員自主研究活動指定研究	20
IV 各遺跡の発掘調査概要	21
V 付篇	54
1 令和5年度群馬県内発掘調査一覧	54
2 令和5年度群馬県内整理事業一覧	58
3 令和5年度群馬県内発掘調査報告書一覧	61
4 令和5年度群馬県内発掘調査現地説明会・ 関連行事等一覧	65

I 事業団の概要

1 設立の趣旨

歴史的に東国古代文化の中心であった本県には、著名な古墳を中心に多くの遺跡が存在する。特に、我が国の旧石器文化の研究の端緒になった岩宿遺跡、1万3千基余にも及ぶとされる古墳の濃密な分布など、本県文化の特徴を物語る遺跡の存在は県民にとって大きな誇りであり、これら文化財を共有の財産として保護し、後世に伝えていくことは、我々の責務である。

しかし、一方では、県民生活の安定向上を図るための施策として、各種の開発や交通網の整備などが昭和48年度以降急激に増加した。その結果、開発と文化財保護の調整が大きな課題となり、その対応が急務となった。

こうした背景の下で、文化財保護法の理念に基づき、開発と文化財保護の調和を図るための施策の一環として、昭和53年度に財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団が設立された。

平成18年6月「公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律」の施行を受けて、平成24年度から公益財団法人へ移行した。

2 目的

県内の埋蔵文化財の調査及び研究を行うとともに、埋蔵文化財の保護思想のかん養と普及を図り、もって地域の文化の振興に寄与する。

3 沿革

昭和53年7月15日	法人設立認可(事務局を前橋市に設置、業務開始)
昭和55年4月8日	事務局を勢多郡北橋村に移転
昭和59年4月1日	分室を北橋村に設置
昭和61年4月1日	関越自動車道上越線調査事務所を多野郡吉井町に設置
平成5年3月30日	分室を移転
平成6年3月31日	関越自動車道上越線調査事務所を閉所
平成8年7月1日	発掘情報館開館
平成13年4月1日	東毛調査事務所を伊勢崎市に設置
平成14年4月1日	八ッ場ダム調査事務所を吾妻郡中之条町に設置
平成15年6月1日	八ッ場ダム調査事務所を吾妻郡長野原町に移転
平成17年4月1日	岩神分室を前橋市に設置
平成18年2月20日	市町村合併により住所表示変更(渋川市北橋町下箱田)
平成18年3月31日	東毛調査事務所を閉所
平成19年1月28日	岩神分室を閉所
平成24年3月31日	分室を閉所
平成24年4月1日	公益財団法人設立及び解散登記申請・移行
平成25年7月13日	創立35周年記念式典を挙行
平成28年12月21日	八ッ場ダム調査事務所を吾妻郡東吾妻町に移転
平成30年7月14日	創立40周年記念式典を挙行
令和3年3月31日	八ッ場ダム調査事務所を閉所
令和3年4月1日	東吾妻分室を吾妻郡東吾妻町に設置
令和5年9月30日	創立45周年記念講演会

4 組織・名簿

令和6年3月31日現在

ア 役員 総数10名(理事8名、監事2名)

役員名	氏名	備考
理事長	向田 忠正	学識経験者
常務理事	山崎 浩通	学識経験者
理事	山岸 裕美子	群馬医療福祉大学社会福祉学部教授
理事	金子 昌彦	群馬県商工会議所連合会会長
理事	鈴木 雅浩	学識経験者
理事	茂木 和拡	一般財団法人群馬経済研究所常務理事
理事	神保 侑史	学識経験者
理事	右島 和夫	群馬県立歴史博物館特別館長
監事	荒木 伸夫	公認会計士
監事	秋池 武	下仁田町歴史館館長

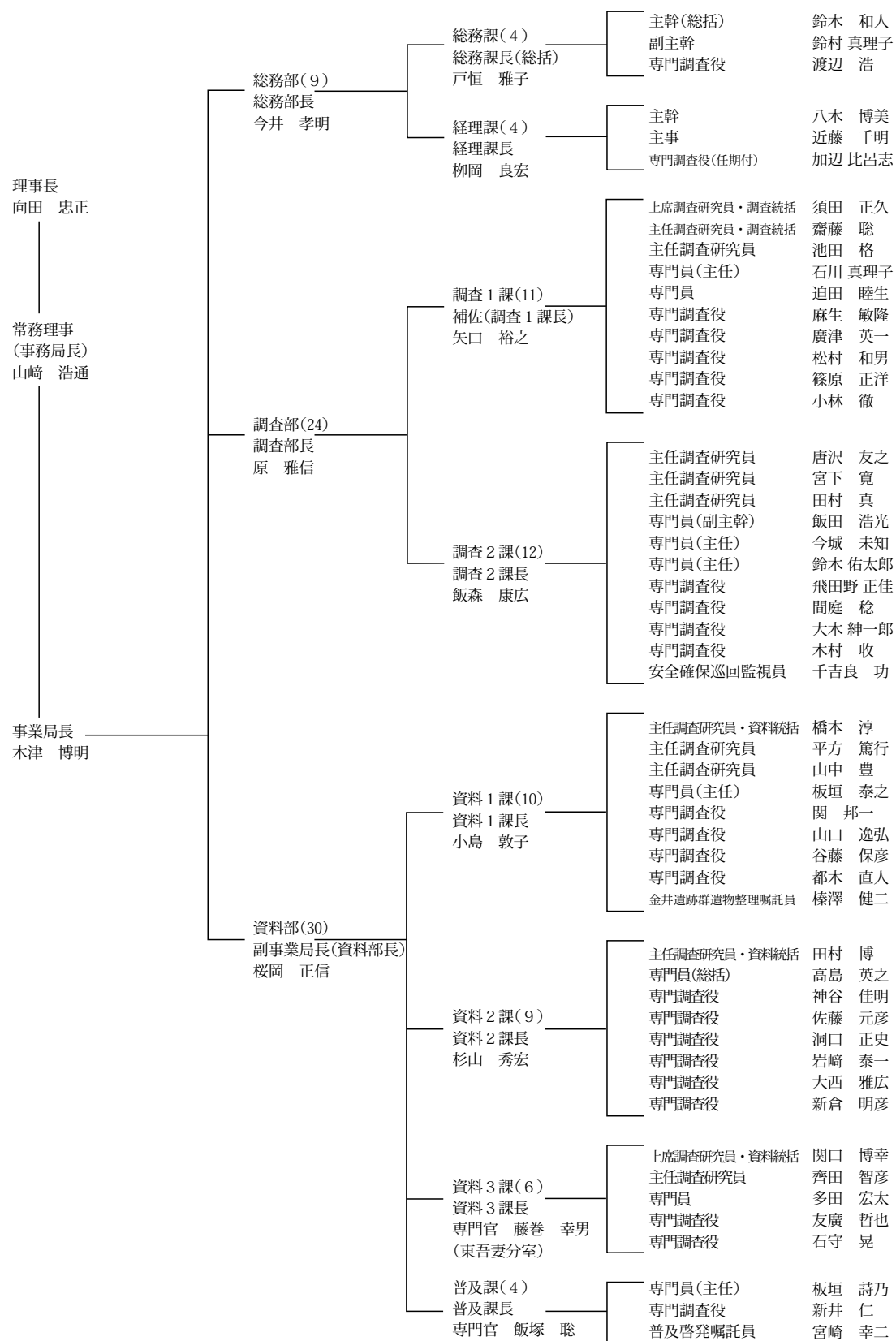
イ 評議員(総数8名)

役員名	氏名	備考
評議員	関戸 明子	群馬大学共同教育学部教授
評議員	津金澤 吉茂	元事業団常務理事
評議員	浜名 大輔	上毛新聞社編集局次長兼写真映像部長
評議員	梨子田 友和	群馬テレビ営業局営業部兼報道局報道部専任部長
評議員	田部井 俊勝	ぐんま共済協同組合理事長
評議員	西野 壽章	高崎経済大学名誉教授
評議員	久保田 順一	群馬県文化財保護審議会専門委員
評議員	植松 啓祐	群馬県地域創生部文化財保護課長

ウ 特別顧問(総数6名)

役員名	氏名	備考
特別顧問	佐藤 信	元理事
特別顧問	小野 宇三郎	元理事長
特別顧問	高橋 勇夫	元理事長
特別顧問	須田 榮一	元理事長
特別顧問	井上 唯雄	前評議員
特別顧問	中野 三智男	前理事長

工 事務局 総数66名(派遣職員19名、法人職員44名、嘱託職員 3名)



5 理事会、評議員会などの開催状況

会議名	開催日	現在数		議案
	開催場所	出席者	出席者	
第152回 定例理事会	令和5年6月12日 発掘情報館研修室	現在数	8	1 令和4年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団事業報告及び事業報告の附属明細書について 2 令和4年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団貸借対照表について 3 令和4年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団正味財産増減計算書について 4 令和4年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書について 5 令和4年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業財産目録について 6 令和4年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団キャッシュ・フロー計算書について 監査の報告について 7 公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団第70定時評議員会の招集について 8 公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団役員賠償責任保険の内容について 9 公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団特別顧問の委嘱について 10 報告事項 (1)専決処分の報告について ア 令和4年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団の事業計画変更及び収支予算の補正(補正2号)について イ 公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団文書規程の一部改正について
		出席者	8	
		監事出席	2	
第70回	令和5年6月27日	現在数	8	1 令和4年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団貸借対照表について 2 令和4年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団正味財産増減計算書について 3 令和4年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書について 4 令和4年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団財産目録について 5 令和4年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団キャッシュ・フロー計算書について 監査の報告について 6 報告事項 (1)令和4年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団事業報告及び事業報告の附属明細書について
定時評議員会	発掘情報館研修室	出席者	6	

会議名	開催日	現在数		議案
	開催場所	出席者		
				(2)専決処分の報告について 令和4年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団の事業計画変更及び収支予算の補正(補正2号)について
第153回 理事会	令和5年10月31日 発掘情報館研修室	現在数	8	1 報告事項 (1)常勤理事の職務執行状況について
		出席者	8	
		監事出席	2	
評議員・理事 監事・特別顧問 合同現地視察	令和5年10月31日	参加者	13	1 深沢遺跡の発掘状況 (令和5年度上信自動車道吾妻東バイパス事業に伴う埋蔵文化財の発掘調査)
第154回 理事会	令和6年3月7日 発掘情報館研修室	現在数	8	1 令和5年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団事業計画の変更及び収支予算の補正(補正1号)について 2 令和6年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団事業計画について 3 令和6年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団収支予算について 4 公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団第71回評議員会の招集について 5 報告事項 (1)常勤理事の職務執行状況について
		出席者	7	
		監事出席	2	
第71回 評議員会	令和6年3月14日 発掘情報館研修室	現在数	8	1 令和5年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団の事業計画変更及び収支予算の補正(補正1号)について 2 令和6年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団事業計画について 3 令和6年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団収支予算について
		出席者	6	

6 令和5年度主要行事

- 4月3日 辞令交付式
- 5月28日 最新情報展第2期関連講演会
- 5月31日 監事監査
- 6月12日 第152回理事会
- 6月18日 最新情報展第2期関連講演会
- 6月27日 第70回評議員会
- 6月30日、7月5日、7日 安全衛生週間現場巡回
- 7月9日 ぐんま遺跡報告会
- 7月21日～8月16日 夏休み親子宿題教室
- 7月28日 全国埋蔵文化財法人連絡協議会関東ブロック協議会総会(群馬会館)
- 8月2日～4日 埋蔵文化財専門講座(教員コース)
- 9月30日 45周年記念講演会(高崎市民文化会館 講師：千田嘉博 名古屋市立大教授・奈良大学特任教授)
- 10月2日、4日、6日 安全衛生週間現場巡回
- 10月28日 公開普及デー、現地説明会(深沢遺跡)、最新情報展第1期(～令和6年1月28日)
- 10月30日 第153回理事会
- 10月30日 理事会、「評議員・理事・幹事・特別顧問」の現地業務視察(深沢遺跡)
- 1月14日 最新情報展第1期関連講演会
- 1月16日 大人のための冬の古代体験教室(～令和6年3月6日)
- 1月23日、25日、30日 埋蔵文化財専門講座(行政担当者コース)
- 2月18日 最新情報展第2期(～令和6年6月)
- 3月7日 第154回理事会
- 3月14日 第71回評議員会
- 3月17日 最新情報展第2期関連講演会
- 3月21日 法人連携研修
- 3月29日 退職辞令等交付式、臨時職員感謝状贈呈式

7 会計経理の状況

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

ア 決算額

	当年度	前年度
経常収益	2,664,412,707	2,339,902,157
経常費用	2,602,262,665	2,280,994,291
経常外収益	0	44,289
経常外費用	17	0
税引前当期正味財産増減額	62,150,025	57,217,132

Ⅱ 事業概要

1 発掘調査事業概要

(1) 幹線交通関連埋蔵文化財発掘調査

委託者 国土交通省

事業名称	番号	遺跡名	所在地	遺跡の内容	面積㎡	調査期間
一般国道50号(前橋笠懸道路)建設	1	柳田遺跡	伊勢崎市赤堀今井町	古墳時代～平安時代の竪穴建物、土坑	425.91	令5.10.1～令5.11.15
	2	今井北原遺跡	伊勢崎市赤堀今井町	旧石器時代石器、古墳時代～平安時代の竪穴建物、土坑、溝	3,167.59	令5.9.1～令5.11.30
	3	中堀西遺跡	伊勢崎市野町	古墳時代～平安時代の竪穴建物、掘立柱建物、土坑、溝	3,726.01	令5.4.1～令5.9.30
	4	社南遺跡	伊勢崎市野町	旧石器時代石器、古墳時代～平安時代の竪穴建物、掘立柱建物、土坑、溝	9,849.94	令5.9.1～令6.3.31
一般国道17号(綾戸バイパス)建設	5	棚下込山遺跡	渋川市赤城町棚下	古墳時代の土坑、縄文時代の土坑	364.85	令5.5.1～令5.5.31

(2) 公共開発関連埋蔵文化財発掘調査

委託者 群馬県県土整備部

事業名称	番号	遺跡名	所在地	遺跡の内容	面積㎡	調査期間
(一)苗ヶ島飯土井線社会資本総合整備	6	前橋市0327・0367遺跡	前橋市飯土井町	古墳時代の竪穴建物、方形周溝墓、土坑、古代以降の土坑、溝、近世の溝、畑	979.25	令5.4.1～令5.4.30
西毛広域幹線道路(高崎工区)社会資本総合整備	7-1	保渡田押出遺跡	高崎市保渡田町	古墳時代～平安時代の竪穴建物、掘立柱建物、道路状遺構、井戸、溝、水田、平安時代～近世の溝	3,481.68	令5.5.1～令6.3.31
	7-2	三ツ寺鍛冶街道遺跡	高崎市三ツ寺町	古墳時代～平安時代の竪穴建物、平安時代～近世の溝	506.53	
	8-1	保渡田阿弥陀遺跡	高崎市保渡田町	古墳時代の竪穴建物、溝、Hr-FA下畑、Hr-FP泥流下水田、溝、As-B下水田、溝	5,395.22	令5.4.1～令5.6.30 令6.1.1～令6.3.31
	8-2	保渡田坂詰遺跡	高崎市保渡田町	As-C下水田、溝、Hr-FA下水田、溝、Hr-FP泥流下水田、溝、As-B下水田、溝		
(都)3.6.10号南北中央幹線(他1路線)無電柱化推進計画	9	本宿遺跡 町北遺跡	安中市安中	奈良時代～平安時代の竪穴建物、土坑、溝、東山道駅路の一部とみられる溝、中世の土坑、溝、道、近世の配石、As-Aの復旧坑	1,929.47	令5.4.1～令5.6.30
(一)安中富岡線(西毛広域幹線道路 安中富岡工区)社会資本総合整備	10	一本木遺跡	安中市安中	As-B下水田、溝、配石遺構、As-Aの復旧坑	4,996.36	令5.7.2～令5.10.31
	11	霜田遺跡	安中市上間仁田	縄文時代の竪穴建物、土坑、埋葬、古代の竪穴建物、中世の土坑	2,243.63	
(一)下栗須馬庭停車場線(下栗須工区)社会資本総合整備	12	藤岡市27包蔵地	藤岡市下栗須	古墳時代～平安時代の竪穴建物、竪穴状遺構	107.60	令5.5.1～令5.5.31
一級河川利根川(伊勢崎・玉村工区)河川改修	13	西上之宮遺跡	伊勢崎市西上之宮町	古墳時代～平安時代の竪穴建物、古墳、土坑、溝、Hr-FA下水田、As-B下水田、中世の土坑、溝	10,542.18	令5.4.1～令6.3.31
	14	東上之宮遺跡・若宮古墳群	伊勢崎市東上之宮町	古墳、古代の竪穴建物、As-B下水田、畑、中、近世水田、As-A下水田、建物、墓	19,521.02	
	15	樋越薬師遺跡	佐波郡玉村町樋越	As-A下畑、溝、道	1,530.70	

事業名称	番号	遺跡名	所在地	遺跡の内容	面積㎡	調査期間
(一)下沢渡原町線(原町工区Ⅱ期)社会資本総合整備	16	八幡原遺跡	吾妻郡東吾妻町原町	縄文時代の土坑、溝、弥生時代の土坑、古代～中世の土坑	537.38	令5.6.1～令5.6.30
(一)新巻市城線(新巻ICアクセス道路)道路改築	17	柳沢遺跡	吾妻郡東吾妻町新巻	縄文時代の竪穴建物、古墳時代の竪穴建物	863.87	令5.11.1～令5.12.31
(主)昭和インター線(森下工区)バイパス社会資本総合整備	18	森下宮原遺跡	利根郡昭和村森下	旧石器時代の石器ブロック、縄文時代の竪穴建物、古墳～古代の竪穴建物、掘立柱建物、土坑	4,071.48	令5.6.1～令5.12.31
(都)3.4.11中央通り線無電柱化推進計画	19	館林城跡・城下町	館林市本町	近世の土坑、溝	238.59	令5.6.1～令5.7.31
上信自動車道吾妻東バイパス	20	深沢遺跡	吾妻郡東吾妻町川戸	縄文時代の竪穴建物、土坑、弥生時代の竪穴建物、古墳、古代の竪穴建物、中近世の土坑	4,429.45	令5.8.1～令5.12.31
	21	天竜遺跡	吾妻郡東吾妻町川戸	古墳時代～平安時代の竪穴建物、土坑、溝、中近世の掘立柱建物、土坑、溝	7,781.48	令5.6.1～令5.11.30
	22-1	岩井山根B遺跡	吾妻郡東吾妻町岩井	縄文時代の竪穴建物、畑、古代の畑、溝、中近世の掘立柱建物、土坑、溝、畑	13,671.13	令5.4.1～令5.12.31
	22-2	小田沢遺跡	吾妻郡東吾妻町岩井	古墳時代の土坑、水田、古代の掘立柱建物、水田、畑、中近世の水田、畑		
	23	沢ノ上B遺跡	吾妻郡東吾妻町植栗	中近世の掘立柱建物、井戸、土坑、溝	3,959.47	令6.1.1～令6.3.31
	24	小泉天神西遺跡	吾妻郡東吾妻町小泉	縄文時代の土坑、古墳時代の土坑、古代の掘立柱建物	876.00	令5.4.1～令5.5.31
	25	新巻膝附遺跡	吾妻郡東吾妻町小泉	古墳時代の竪穴建物、土坑、奈良時代～平安時代の掘立柱建物、溝、中近世の溝	872.66	令5.12.1～令6.1.31
	26	月夜野A遺跡	吾妻郡東吾妻町新巻	縄文時代の竪穴建物、土坑、中近世の水田、畑、土坑、溝	4,583.04	令5.4.1～令5.7.31
	27	柳沢遺跡	吾妻郡東吾妻町新巻	縄文時代～弥生時代の竪穴建物、掘立柱建物、古墳時代～平安時代の竪穴建物、掘立柱建物、中近世の畑	6,806.37	令5.8.1～令6.3.31
	28	箱島下寄居遺跡	吾妻郡東吾妻町箱島	縄文時代の土坑、古代の畑、中近世の土坑、溝	3,629.56	令5.4.1～令5.5.31 令5.12.1～令5.12.31

委託者 群馬県警察本部

事業名称	番号	遺跡名	所在地	遺跡の内容	面積㎡	調査期間
倉賀野交番建設	29	倉賀野下樋越遺跡	高崎市倉賀野町	奈良時代～平安時代の竪穴建物、土坑、井戸、溝、中近世の溝	141.14	令5.5.1～令5.5.31

2 整理事業概要

(1) 幹線交通関連埋蔵文化財整理

委託者 国土交通省

事業名称	番号	遺跡名	所在地	報告書名	発行日	整理期間
一般国道50号(前橋笠懸道路)建設	1	柳田遺跡	伊勢崎市赤堀今井町			令5.4.1～令6.3.31
	2	中堀東遺跡・多田山東遺跡	伊勢崎市野町	第733集『多田山東遺跡』	令6.3.19	令5.4.1～令5.11.30
	3	中堀西遺跡	伊勢崎市野町			令5.12.1～令6.3.31
一般国道17号(綾戸バイパス)建設	4	棚下込山遺跡	渋川市赤城町	第738集『棚下込山遺跡』	令6.3.19	令5.10.1～令6.3.31

(2) 公共開発関連埋蔵文化財整理

委託者 群馬県県土整備部

事業名称	番号	遺跡名	所在地	報告書名	発行日	整理期間
(主)前橋玉村線バイパス社会資本総合整備	5	前橋市0946・0635遺跡	前橋市下佐鳥町・朝倉町	第727集『前橋市0946・0635遺跡』	令5.8.15	令5.4.1～令5.4.30
一級河川利根川(伊勢崎・玉村工区)河川改修	6	西上之宮遺跡	伊勢崎市西上之宮町			令5.4.1～令6.3.31
	7	東上之宮遺跡	伊勢崎市東上之宮町			令5.4.1～令6.3.31
	8	樋越薬師遺跡	佐波郡玉村町樋越			令5.4.1～令6.3.31
西毛広域幹線道路(高崎工区)社会資本総合整備	9	保渡田屋敷廻り遺跡	高崎市保渡田町	第729集『保渡田屋敷廻り遺跡』	令5.8.23	令5.4.1～令6.6.30
	10	保渡田押出遺跡・保渡田裸薬師遺跡・三ツ寺鍛冶街道遺跡	高崎市保渡田町・三ツ寺町			令5.4.1～令6.3.31
	11	保渡田阿弥陀遺跡・保渡田坂詰遺跡	高崎市保渡田町			令5.7.1～令6.3.31
(一)下里見安中線(西毛広域幹線道路 高崎安中工区)社会資本総合整備	12	下里見番場遺跡	高崎市下里見町	第730集『下里見番場遺跡』	令5.9.28	令5.4.1～令5.7.31
(都)3.3.7前橋長瀬線外1路線社会資本総合整備交付金	13	綿貫41遺跡・岩鼻47-3遺跡	高崎市綿貫町・岩鼻町	第737集『綿貫堤西遺跡・綿貫堤遺跡・綿貫千葉西遺跡・岩鼻塚合遺跡・岩鼻延養寺遺跡・岩鼻天神遺跡・岩鼻赤城遺跡・岩鼻坂上北遺跡』	令6.2.20	令5.4.1～令5.12.31
(一)小平塩原線滝ノ上工区道路改良	14	下谷戸B遺跡	みどり市大間々町			令5.9.1～令6.3.31
(主)桐生田沼線無電柱化推進計画	15	桐生新町水路跡	桐生市本町	第726集『桐生新町水路跡』	令5.7.19	
(主)大間々世良田線社会資本総合整備	16	小仁田遺跡	みどり市笠懸町	第736集『小仁田遺跡』	令6.2.22	令5.5.1～令5.12.31
(一)八瀬川堤防嵩上げ社会資本総合整備	17	古戸諏訪遺跡	太田市古戸町	第732集『古戸諏訪遺跡』	令5.11.29	令5.8.1～令5.9.30
(一)大川 社会資本総合整備	18	下田島遺跡	太田市下田島町	第731集『下田島遺跡』	令5.10.27	令5.4.1～令5.8.31
(一)下栗須馬庭停車場線(下栗須工区)社会資本総合整備	19	藤岡市22・27包蔵地	藤岡市下栗須・中栗須	第734集『下栗須津島B遺跡(27包蔵地)・中栗須光明B遺跡(22包蔵地)』	令5.12.25	令5.4.1～令5.10.31

事業名称	番号	遺跡名	所在地	報告書名	発行日	整理期間
(一)長久保郷原線(土増田工区)社会資本総合整備	20	土塩中原遺跡	安中市松井田町	第728集『土塩中原遺跡』	令5.7.19	令5.4.1～令5.5.31
(一)安中富岡線(西毛広域幹線道路 安中富岡工区)社会資本総合整備	21	宮久保遺跡・中遺跡	安中市上間仁田	第740集『宮久保遺跡・中遺跡』	令6.3.22	令5.4.1～令6.3.31
(一)蚊沼川 社会資本総合整備	22	南蛇井北原田遺跡・蚊沼大神分遺跡	富岡市南蛇井・中沢・蚊沼	第735集『南蛇井北原田遺跡・蚊沼大神分遺跡』	令6.1.29	令5.4.1～令5.11.30
(主)昭和インター線(森下工区)バイパス社会資本総合整備	23	森下宮原遺跡	利根郡昭和村森下			令5.4.1～令6.3.31
上信自動車道吾妻東バイパス	24	厚田中村遺跡	吾妻郡東吾妻町厚田	第741集『厚田中村遺跡(3)』	令6.3.27	令5.4.1～令6.3.31
	25	厚田橋詰遺跡	吾妻郡東吾妻町厚田			令5.12.1～令6.3.31
	26	小田沢遺跡・下泉A遺跡・下泉B遺跡	吾妻郡東吾妻町植栗			令5.4.1～令6.3.31
	27	川戸太田遺跡	吾妻郡東吾妻町川戸	第739集『川戸太田遺跡』	令6.3.18	令5.11.1～令6.3.31
	28	天竜遺跡	吾妻郡東吾妻町川戸			令5.4.1～令6.3.31
	29	小泉天神西遺跡	吾妻郡東吾妻町小泉			令6.1.1～令6.3.31

刊行報告書 合計16冊

3 普及事業概要

(1) 資料と施設の公開

A 資料の利用と貸出

当事業団では、群馬県埋蔵文化財調査センターが所蔵する考古資料の貸出や利用に係る管理事務を群馬県地域創生部文化財保護課より受託している。資料の貸出は、各種の学校教育への利用や博物館等の公的機関による展示公開を目的とした資料借用申請を受けて行われる。また、資料の利用とは、学術研究目的の考古資料の実見、観察、写真撮影、実測等を当センター内において行うことをいう。

令和5年度の実績は以下の表のとおりである。

ア 資料の利用と貸出し数

内 訳	貸 出			利 用		
	件 数	写真等	遺 物	件 数	写真等	遺 物
1 博物館・資料館等	33	131	1,373	14		2,077
2 学 校	14	5	112			
3 地域社会						
4 公的編纂事業						
5 埋蔵文化財行政	25	411	590	40	8	12,281
6 委 託 者						
7 民間事業所						
8 研 究 者	10	29	43	26	7	2,408
9 報道関係	4	49				
10 出 版 社	16	46	50			
11 行 政	5	67	78			
小 計	107	738	2,246	80	15	16,766
合 計	貸出・利用＝187件/ 写真等 753点/ 遺物19,012点					

イ 資料の主な貸出先

貸 出 先	期 間	企画など	主な貸出資料
粕川歴史民俗資料館 (前橋市教育委員会)	令和5.4.14 ～ 令和5.4.28	粕川歴史民俗資料館令和5年度春 期企画展資料として借用	上西原・二之宮宮下東・今井 道上・荒砥荒子遺跡画像データ
株式会社ドキュメンタリー ジャパン	令和5.5.9 ～ 令和5.7.5	NHKBSプレミアム・4K番組 「英雄たちの選択・浅間山大噴火」 (7月5日放送予定)で使用	石川原・東宮遺跡画像データ
群馬県	令和5.6.6 ～ 令和6.3.31	Gメッセ群馬1階エントランスで の展示	高崎競馬場遺跡出土資料
大津市歴史博物館	令和5.6.15 ～ 令和5.7.22	企画展「発掘された大津の歴史」に おいて図録及び展示パネルに使用	鳥羽遺跡画像データ
十日町市博物館	令和5.8.24 ～ 令和5.12.1	秋季企画展「縄文人の喜怒哀楽」で の展示	荒砥上川久保・小町田・内匠 上之宿・石川原遺跡出土資料
株式会社JTB パブリッシング	令和5.7.26 ～ 令和5.10.15	書籍『群馬の教科書』に掲載	日高・金井東裏遺跡画像データ
株式会社有斐閣	令和5.10.1 ～ 令和5.12.31	『はじめて学ぶ考古学 改訂版』の 紙版書籍・電子版書籍に使用	荒砥上川久保遺跡画像データ
群馬県立歴史博物館	令和5.12.15 ～ 令和6.3.20	原始常設展示室の展示解説強化の ため、新たに製作する映像コンテ ンツで利用	三和工業団地遺跡画像データ
一般社団法人日本考古学協会	令和5.12.21 ～ 令和6.3.31	『発掘された日本列島2023調査研 究最前線』日本考古学公式サイト 英文・中文・韓文コンテンツへ掲載 し、海外に向け情報発信	下里見天神前遺跡画像データ

B 施設の利用

ア 施設の見学など

令和5年度における発掘情報館の見学や研修等の来館者総数は6,019人を数え、うち日曜開館時の来場者は1,626人であった。開館日数は288日であった。

月別の目的別来館者

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計
見学	267	214	343	623	1,223	286	397	265	173	215	201	339	4,546
資料調査など	11	5	5	4	4	4	15	12	8	4	2	1	75
行政視察	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
研修	0	32	42	48	0	0	0	0	0	89	0	25	236
学校・教委	160	11	104	52	64	32	94	28	29	22	48	10	654
図書	24	31	51	46	39	44	56	41	47	32	52	44	507
計	462	293	545	773	1,330	366	562	346	257	362	303	420	6,019

イ 図書室の利用

図書の利用状況は、貸出数3,025冊、利用者数794人であった。新規図書受入数は2,010冊であり、蔵書総数は135,942冊となった。なお、図書登録状況や図書収蔵量の推移について、年報42号以前の数値に誤りがあったため、本号で訂正した。新型コロナウイルス対策として令和4年度まで行っていた事前予約制は終了し、月・金・日曜日を一般利用者に開放した。

貸出状況

内部貸出	486件	1,654点
外部貸出	308件	1,371点
貸出総数	794件	3,025点

図書など登録状況

新規登録数	2,010点	
登録内訳	移管	46点
	寄贈	1,702点
	購入	262点
収蔵量	135,942点	

図書室収蔵量の推移

事業年度	累計点数	増減分
令和元年度末	127,006点	2,450点
令和2年度末	129,427点	2,421点
令和3年度末	131,761点	2,334点
令和4年度末	133,932点	2,171点
令和5年度末	135,942点	2,010点

新規収蔵資料の概要

埋蔵文化財発掘調査報告書	59.85%
市町村誌など	0.65%
一般文化財・民俗関係	0.25%
埋蔵文化財・考古学に関連する雑誌類および各機関の紀要・年報・ニュースレターなど	32.94%
埋蔵文化財・考古学および歴史などに関連する単行本・全集・展示図録など	5.52%
辞典・図鑑・地図など	0.80%

C 行事

ア 最新情報展

期 間	令和5年4月1日(土)～令和6年3月31日(日)
主 催	群馬県地域創生部
実施機関	公益財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団
会 場	群馬県埋蔵文化財調査センター発掘情報館資料展示室
展示内容	令和4年度第2期 「まるごと金井遺跡群―榛名に生きた古墳人―」 期 間：令和5年2月19日(日)～令和5年8月27日(日) (参加者 4年度458人、5年度2,073人/ 計2,531人) 関連講座：令和5年5月28日(日)「金井東裏遺跡の記憶」 講師：都木直人(参加者32人) 関連講座：令和5年6月18日(日)「金井下新田遺跡の奇跡」 講師：山中 豊(参加者42人)
	令和5年度第1期 「高崎市本郷遺跡群―古代寺院と榛名山信仰―」 期 間：令和5年10月28日(土)～令和6年1月28日(日) (参加者1,071人) 関連講座：令和6年1月14日(日) (参加者50人) 「高崎市本郷遺跡群―発掘調査から明らかになった古代寺院の姿―」 講師：齋藤 聡 「古代～中世前期にかけての榛名山信仰の展開と上野国衙」 講師：飯塚 聡
	令和5年度第2期 「東吾妻の弥生～古墳時代の集落と墓」 期 間：令和6年2月18日(日)～令和6年5月19日(日) (参加者578人/令和5年度のみ) 関連講座：令和6年3月17日(日)「東吾妻の弥生から古墳時代の集落と墓の変遷と特徴～四戸遺跡・四戸の古墳群・新井遺跡の発掘調査から分かったこと」 講師：杉山秀宏(参加者25人)



令和5年度最新情報展ポスター

イ 埋蔵文化財専門講座

期 間	①教員コース ②埋蔵文化財担当者コース	令和5年8月2日(水)～8月4日(金) 令和6年1月23日(火)・25日(木)・30日(火)
主 催	群馬県地域創生部	
実施機関	公益財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団	
会 場	群馬県埋蔵文化財調査センター発掘情報館研修室	
対 象	①県内公立学校に勤務する教員 ②市町村教育委員会の文化財関係職員	
内 容	①埋蔵文化財の調査成果を年間の学習指導計画の中に取り入れて生徒の学びを豊かにし、将来の地域を支える市民として生徒の基礎教養を育むとともに、教員においては地域の身近な教材として活用する視点の育成と地域の歴史文化への基礎知識の涵養を図る。 ②県が実施している埋蔵文化財調査の知識や技術、普及活動等を紹介し研修してもらい、市町村の埋蔵文化財と発掘調査・整理、普及活用など、地域の学校教育と生涯学習の資質向上に資する。	
① 教員コース (参加者 12人)	8月2日(水) 参加者9人	開講式 阿久津 聡(県地域創生部文化財保護課)・木津博明 講義1:埋蔵文化財の基礎講座 桜岡正信 講義2:文化財学習とその意義 飯塚 聡 講義3:授業で使える発掘情報館! 板垣詩乃 講義4:発掘情報館の体験学習 新井 仁・宮崎幸二
	8月3日(木) 参加者9人	講義5:授業で使える文化財Ⅰ「群馬の歴史と文化財」旧石器～古墳時代 田村 博 講義6:最新情報展「まるとと金井遺跡群」見学 板垣詩乃 講義7:授業で使える文化財Ⅱ「群馬の歴史と文化財」古代・中世・近現代 飯塚 聡
	8月4日(金) 参加者7人	発掘体験実習(高崎市保渡田押出遺跡):青木亮子(県地域創生部文化財保護課) 飯塚 聡
② 埋蔵文化財 担当者 コース (参加者 25人)	1月23日(火) 参加者20人	開講式 阿久津 聡(県地域創生部文化財保護課)・木津博明 講義1:文化財保護行政の動勢と埋蔵文化財の取扱い 阿久津 聡(県地域創生部文化財保護課) 講義2:補助金事務の取扱い 小林 正(県地域創生部文化財保護課) 講義3:埋文事業団の資料の保存管理及び普及活動の取組について 板垣詩乃 新井 仁 講義4:出土遺物の3Dアーカイブ化事業について 青木亮子(県地域創生部文化財保護課) 板垣詩乃
	1月25日(木) 参加者7人	講義5:収蔵展示室リニューアルについて(埴輪展示のコンセプト・埴輪の基礎知識) 杉山秀宏・迫田睦生 講義6:脆弱遺物の取扱い 板垣泰之
	1月30日(火) 参加者11人	講義7:報告書作成に関するデジタル編集の基礎知識 齊田智彦 講義8:文化財保護の歴史と文化遺産の活用 飯塚 聡 特 講:群馬県立歴史博物館の文化観光拠点施設としての取組 深澤敦仁(群馬県立歴史博物館)



①教員コース(発掘体験実習)



②埋蔵文化財担当者コース(講義7)

ウ 夏休み親子宿題教室

期 間	令和5年7月21日(金)～令和5年8月16日(水)
主 催	群馬県地域創生部
実施機関	公益財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団
会 場	群馬県埋蔵文化財調査センター発掘情報館体験学習室
対 象	県内小中学生とその保護者
内 容	古代体験「勾玉づくり」「埴輪・土器づくり」 特別企画「アトリエ発掘情報館」
参加者	796人



夏休み親子宿題教室



アトリエ発掘情報館

エ 3D計測アーカイブ業務

日 時	令和5年5月1日(月)～令和6年2月28日(水)
主 催	群馬県地域創生部
実施機関	公益財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団
対 象	弥生土器・土製品 30点
内 容	群馬県所蔵の出土遺物の3Dアーカイブ化を行い、埋蔵文化財調査事業団に対するより具体的な理解を図り普及活動に寄与する。



3Dモデルの構築

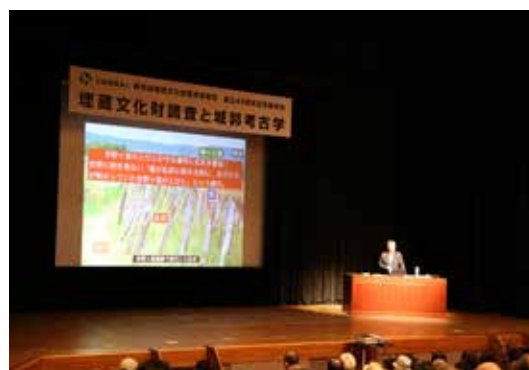


撮影の様子

オ 創立45周年記念講演会(ぐんま考古学講座)

期 日	令和5年9月30日(土)
主 催	公益財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団
開 場	高崎市文化会館 大ホール
講 師	名古屋市立大学教授・奈良大学特任教授 千田嘉博 先生
演 題	「埋蔵文化財と城郭考古学」
参 加 者	449人

事業概要



千田嘉博先生によるご講演の様子

創立45周年記念講演会チラシ

カ ぐんま遺跡報告会

日 時	令和5年7月9日(日)
主 催	公益財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団
会 場	群馬県埋蔵文化財調査センター発掘情報館研修室
内 容	開会挨拶 理事長 向田忠正
	発表1:三ッ寺鍛冶街道遺跡(高崎市) 調査部調査2課 専門員(主任) 今城未知
	発表2:天竜遺跡(東吾妻町) 調査部調査1課 専門員 迫田陸生
	発表3:八ッ場天明泥流下調査(長野原町) 資料部資料1課 専門員(主任) 板垣泰之
	発表4:阿左美遺跡(みどり市) 資料部資料1課 主任調査研究員・資料統括 橋本 淳
閉会挨拶 副事業局長 桜岡正信	
参 加 者	48人



発表2 天竜遺跡



発表4 阿左美遺跡

キ 公開普及デー

期 間	令和5年10月28日(土)
主 催	公益財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団
会 場	群馬県埋蔵文化財調査センター発掘情報館・本館・調査研究館・収蔵庫
内 容	発掘情報館の各展示室の公開、予約制で古代体験学習とバックヤードツアーを実施
参加者	96人

ク 大人のための冬の古代体験教室

期 間	令和6年1月16日(火)～3月6日(水)
主 催	公益財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団
会 場	群馬県埋蔵文化財調査センター発掘情報館体験学習室
内 容	アンギン編み・ミニチュアレプリカ作り・銅鏡レプリカ作り・トンボ玉作りを予約制で実施
参加者	24人



公開普及デー 受付の様子



大人のための冬の古代体験(トンボ玉作り)

ケ 発掘調査現地説明会など

遺 跡 名	期 間	場 所	来場者	内 容
深沢遺跡	令和5年10月28日(土)	東吾妻町川戸	84人	縄文時代の集落、古墳時代の古墳群など

コ 収蔵展示室(基準展示室)展示替え



創立45周年記念事業の一環として展示替えを行った。

サ その他 Gメッセ群馬1階展示コーナーの展示替えを行った。

(2) 指導者の派遣

ア 学校への体験学習講師派遣

実施日	学 校	内 容	学 年	教 科 等	人 数
4月20日	渋川市立豊秋小学校	講話(古代の人々の様子)	6年生	総合的な学習の時間	85人
5月29日	前橋市立粕川小学校	火起こし体験	6年生	体験活動	58人
6月7日	共愛学園小学校	土器づくり	6年生	社会科	55人
6月8日	伊勢崎市立名和小学校	土器づくり	6年生	図画工作科	68人
6月21日	藤岡市立鬼石小学校	火起こし体験	6年生	社会科	13人
6月23日	前橋市立月田小学校	勾玉づくり	6年生	PTA親子行事(生徒13人・保護者13人・教員1)	27人
7月12日	甘楽町立新屋小学校	勾玉づくり	6年生	社会科	33人
7月14日	伊勢崎市立坂東小学校	土器づくり	6年生	体験学習	68人
9月7日	伊勢崎市赤堀南小学校	埴輪づくり	6年生	図画工作科	99人
12月19日	前橋市立粕川小学校	土器づくり	6年生	体験活動	58人
2月5日	前橋市立粕川小学校	土器焼成(野焼き)	6年生	体験活動	58人

イ まいぶん出前講座

実施日	依 頼 者	演題・内容	派 遣 職 員	人 数
7月11日	総社歴史勉強会	「死生観と墓制」	資料2課長 杉山秀宏	25人
9月25日	一般財団法人 県老人クラブ連合会	「世界遺産富岡製糸場と絹産業遺産群」	普及課長 飯塚 聡	29人
11月25日	高崎市久留馬公民館	「木戸神社の歴史と古墳時代の人々の暮らし」	主任調査研究員・調査統括 齋藤 聡	70人
2月17日	高崎市倉賀野桜木町 歴史文化講座	「倉賀野駅交番発掘調査から明らかになった倉賀野の歴史」	主任調査研究員・調査統括 齋藤 聡	43人

(3) 情報誌などの刊行

A 『年報』42 令和6年2月28日発行(当事業団ホームページに掲載)

号	頁	内 容
42	1	I 事業団の概要 1 設立の趣旨 2 目的 3 沿革 4 組織・名簿 5 理事会及び評議員会等の開催状況 6 令和4年度主要行事 7 会計経理の状況
	7	II 事業概要 1 発掘調査事業概要 2 整理事業概要 3 普及事業概要
	19	III 研究活動概要 1 職員自主研究活動指定研究
	20	IV 各遺跡の調査概要 (令和4年度調査30遺跡)
	51	V 付篇 1 令和4年度群馬県内発掘調査一覧 2 令和4年度群馬県内整理事業一覧 3 令和4年度群馬県内発掘調査報告書一覧(事業団分含む) 4 令和4年度群馬県内発掘調査現地説明会・関連行事等一覧

B 『研究紀要』42 令和6年3月15日発行

号	頁	論 文 名	執 筆 者
42	1	下吉井式土器の終焉—東京都井出南遺跡出土土器を中心に—	谷藤保彦
	15	弥生時代の炭化米塊に付着した編組製品の素材植物種—群馬県新井遺跡出土資料の検討から—	杉山秀宏・佐々木由香・小林和貴・鈴木三男・能城修一
	23	群馬県における大型前方後円墳の設計—築瀬二子塚古墳と笹森古墳の設計原理—	今城未知
	37	群馬県高崎市本郷遺跡群出土墨書・刻書土器に関する基礎的考察	高島英之
	57	「小野寺刑部少輔戦功覚書」と雨乞山周辺の城砦	飯森康広
	71	公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団創立45周年と『研究紀要』	紀要委員会
	73	研究紀要目次一覧(1～41号)	

C 『埋文群馬』68 令和5年7月19日発行(当事業団ホームページに掲載)

号	頁	内 容	執 筆 者
67	2	多様化する情報発信	木津博明
	3	埋文ライブラリー—ここをクリック!事業団ホームページ探検—遺跡や遺物の知識がいっぱい—	板垣詩乃
	4	遺跡フロントラインⅠ—極越薬師遺跡—噴火と利根川の氾濫で埋もれた畑と玉村町初の柄鏡形敷石建物—	迫田睦生
	6	遺跡フロントラインⅡ—小泉天神西遺跡—山あい広がる古代集落の様相—	田村 真
	7	遺跡フロントラインⅢ—本郷鶴楽遺跡出土の小神像—平安時代後期の人々の祈り—	松村和男
	9	遺跡フロントラインⅣ—バーチャルを通じて文化財に出会う時代がやってくる—3D(三次元)アーカイブ事業について—	板垣泰之
	10	講演ドキュメントⅠ—令和4年度ぐんま考古学講座 村上恭通先生「鉄と馬が共存する古代社会の鉄器生産—モンゴル・グング遺跡と群馬・金井下新田遺跡を中心に—」	飯塚 聡
	11	講演ドキュメントⅡ—令和4年度ぐんま遺跡報告会 発表要旨	本田寛之
	裏表紙	掲示板 普及課からのお知らせ 表紙解説	普及課

D 『第3収蔵庫 収蔵展示室展示解説—時代が変わる 道具も変わる—』令和6年3月28日発行

号	頁	内 容
—	2	旧石器時代の石器
	4	縄文時代の土器
	6	弥生時代の土器
	8	古墳時代の形象埴輪
	10	古墳時代の土器
	12	奈良時代から平安時代の土器
	14	中世・近世の土器・陶磁器

E ホームページの運営

当事業団ホームページでは、行事案内や、発掘調査の最新情報などを掲載して情報発信に努めた。

(4) 資料の保存

保存処理室の業務

対 象	作 業 項 目	対 象 遺 跡	数 量
木製品関係	木器関係の保存処理	5 遺跡	350点
	木器関係のプレパレート作成	—	—
	木器関係の実測	4 遺跡	75点
	木材樹種同定	—	—
金属製品	金属器の錆落とし	18遺跡	598点
	X線写真撮影	39遺跡	570点
	赤外線写真撮影	2 遺跡	2 点
土層	土層剥取	2 遺跡	2 点
現場対応	遺物の取り上げ	1 遺跡	2 点
遺物修復	金属・木・竹製品修復	24遺跡	70点
	特殊脆弱遺物精査・クリーニング・強化処理	2 遺跡	54点
市町村対応	X線写真撮影	2 遺跡	2 件
	土層剥取	1 遺跡	1 点
	赤外線写真撮影	2 遺跡	2 点
	保存処理作業等見学	—	1 件

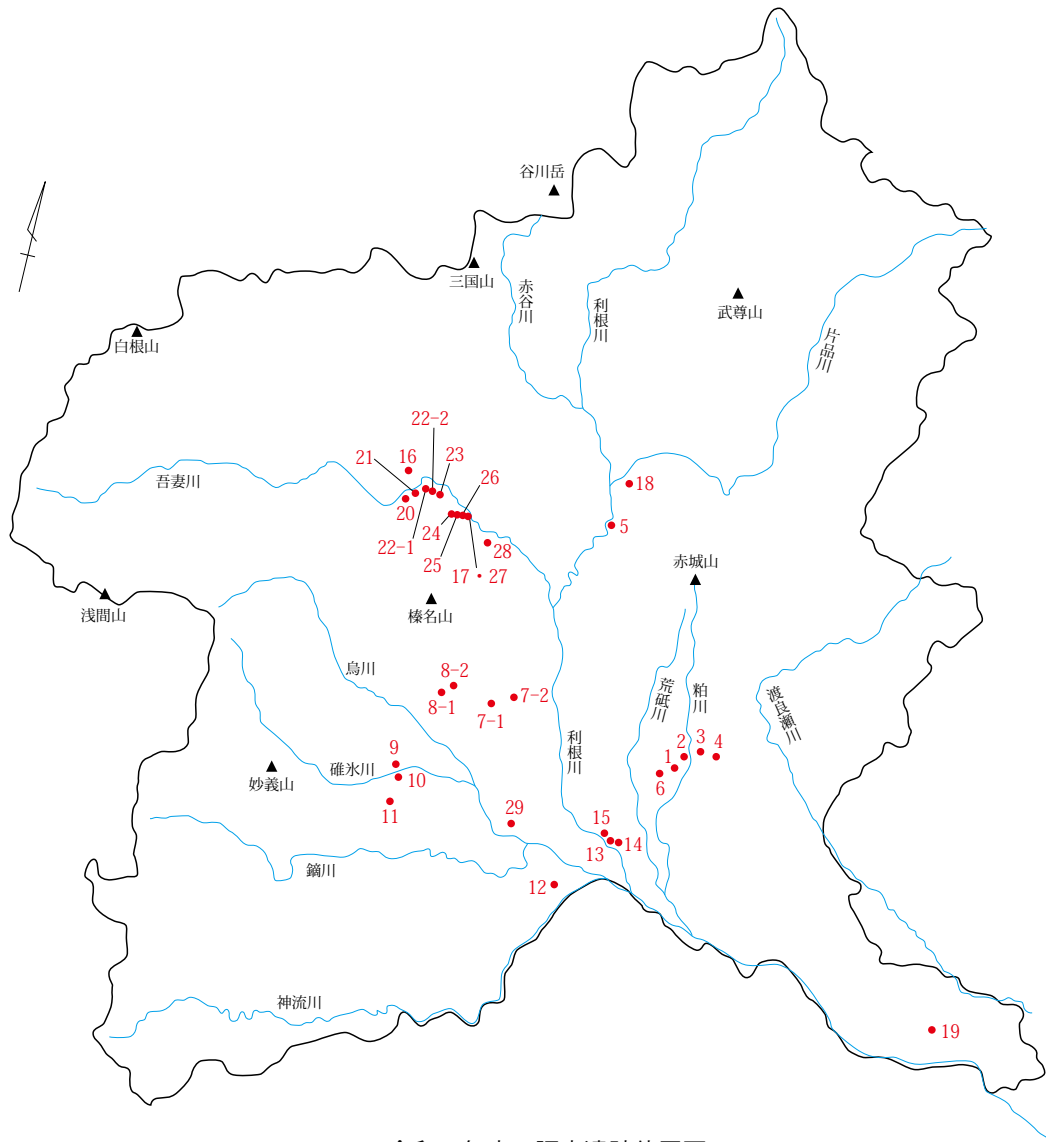
Ⅲ 研究活動概要

1 令和5年度職員自主研究活動指定研究

令和5年度の職員自主研究活動事業の指定は次のとおりである。

No.	氏 名	研 究 課 題
1	飯森康広	山城縄張にみられる地域色
2	杉山秀宏	葉ろう石製玉類の群馬県内における集成及び蛍光X線分析による材質の特定
3	橋本 淳	佐野式土器の編年的研究
4	飯塚 聡	古代の中央・地方の浄土伽藍の展開について
5	関口博幸	吾妻川流域における縄文時代晩期の石材利用と黒曜石大量消費の実態解明
6	鈴木佑太郎	群馬県域における縄文時代晩期の様相 2

IV 各遺跡の発掘調査概要



令和5年度 調査遺跡位置図

- | | | |
|-----------------|-----------------|--------------|
| 1 柳田遺跡 | 11 霜田遺跡 | 21 天竜遺跡 |
| 2 今井北原遺跡 | 12 藤岡市27包蔵地 | 22-1 岩井山根B遺跡 |
| 3 中堀西遺跡 | 13 西上之宮遺跡 | 22-2 小田沢遺跡 |
| 4 杜南遺跡 | 14 東上之宮遺跡・若宮古墳群 | 23 沢ノ上B遺跡 |
| 5 棚下込山遺跡 | 15 樋越薬師遺跡 | 24 小泉天神西遺跡 |
| 6 前橋0327・0367遺跡 | 16 八幡原遺跡 | 25 新巻膝附遺跡 |
| 7-1 保渡田押出遺跡 | 17 柳田遺跡(新巻市城線) | 26 月夜野A遺跡 |
| 7-2 三ツ寺鍛冶街道遺跡 | 18 森下宮原遺跡 | 27 柳沢遺跡 |
| 8-1 保渡田阿弥陀遺跡 | 19 館林城跡・城下町 | 28 箱島下寄居遺跡 |
| 8-2 保渡田坂詰遺跡 | 20 深沢遺跡 | 29 倉賀野下樋越遺跡 |
| 9 本宿遺跡・町北遺跡 | | |
| 10 一本木遺跡 | | |

1 やなぎだ 柳田遺跡

所在地 伊勢崎市赤堀今井町

担当者 田村 真

遺跡の立地

本遺跡は多田山丘陵の東側、東西を低地に挟まれた南北に細長く伸びる低台地上に立地する。標高は100m前後である。遺跡周辺は畑地として利用されている。

調査の概要

本調査は、一般国道50号(前橋笠懸道路)建設事業に伴う発掘調査で、調査面積は425.91㎡である。圃場整備による削平の影響を受けており、遺構の残存状況は悪く、ローム層上面1面のみの調査となった。

旧石器時代 トレンチを設定して旧石器確認調査を行ったが、遺構・遺物は検出されなかった。

古墳～平安時代 竪穴建物1棟、土坑4基、ピット5基を検出した。竪穴建物は一辺が3m前後の小規模な建物で、南東辺にカマドを付設していた。時期は10世紀後半～11世紀初頭と考えられる。239号土坑は、規模や形状から井戸の可能性が高い。埋没土中層で埴輪片が出土した。

中・近世 土坑4基を確認した。各土坑からの出土遺物がなく明確な時期を判断することはできなかったが、埋没土の状況と遺構周辺から陶磁器の小片や古銭がわずかに出土していることから、中近世の可能性が考えられる。

(田村 真)



国土地理院 5万分の1 地形図「前橋」使用



遺跡全景(南から)



平安時代の竪穴建物(西から)



239号土坑(西から)

2 ^{いま い きたはら} 今井北原遺跡

所在地 伊勢崎市赤堀今井町

担当者 田村 真・飯田浩光

遺跡の立地

本遺跡は多田山丘陵の東側、粕川右岸の低台地西部に立地し、標高は118m前後である。遺跡西側の多田山丘陵上には赤堀茶白山古墳や多田山古墳群、北西に毒島城などが所在する。

調査の概要

本調査は、一般国道50号(前橋笠懸道路)建設事業に伴う発掘調査で、調査面積は3,167.59㎡である。本遺跡は令和2年度に調査が行われており、古墳時代の竪穴建物10棟、中・近世の溝11条などが検出されている。

旧石器時代 旧石器確認調査で碧玉製の細石刃1点が出土したため、出土地点付近でトレンチを拡張し本調査を行った。その結果、黒曜石製細石刃3点、剥片11点が出土した。いずれもAs-YPを含むローム層からの出土である。

古墳時代～古代 竪穴建物13棟、土坑47基、溝3条、ピット31基などを検出した。竪穴建物は、出土遺物からいずれも5世紀後半から6世紀代の古墳時代に帰属すると考えられる。いずれも重複しておらず、13棟のうち10棟でカマドを確認した。カマドはほぼ全てが1棟につき1基であったが、1棟はカマドの奥に旧カマドが確認できた。ただ、攪乱により新旧の境界が分からず、作り直しの様子を断面で確認することはできなかった。

中・近世 近世の礎石建物1棟のほか、土坑25基、溝4条、ピット3基などを検出した。

(飯田浩光)



国土地理院5万分の1地形図「前橋」使用



旧石器時代遺物出土状況(東から)



古墳時代の竪穴建物(南から)



古墳時代の土坑(西から)

3 なかぼりにし 中堀西遺跡

所在地 伊勢崎市野町

担当者 石川真理子・廣津英一

遺跡の立地

本遺跡は、伊勢崎市の北部を南流する粕川と鎗木川に挟まれた低台地上に立地する。標高は約116mである。本遺跡の東には中堀東遺跡、北西には赤堀茶臼山古墳や毒島城などの遺跡が存在する。

調査の概要

本調査は、一般国道50号(前橋笠懸道路)建設事業に伴う発掘調査で、調査面積は3,726.01㎡である。

令和4年度からの継続調査で、今年度はAs-B降下面下、As-C混土面の2面調査ないし、As-C混土面の1面調査を行った。

縄文時代 遺構は確認されなかったが、遺構外から前期から後期の土器が出土した。

古墳～平安時代 5世紀から9世紀代の竪穴建物58棟、掘立柱建物3棟、土坑29基、ピット、溝を検出した。竪穴建物は1区西側～2区に集中しており、古墳時代前期の土器が大量に出土した竪穴建物も確認された。

中・近世 ピット、溝2条を検出した。溝は前年度調査と同一遺構で、近現代まで使用されていた痕跡があった。

(石川真理子)



国土地理院 5万分の1 地形図「前橋」使用



古墳時代から平安時代の竪穴建物群(東から)



古墳時代の竪穴建物調査風景(北から)



平安時代の竪穴建物カマド遺物出土状況(西から)

4 やしるみなみ 社南遺跡

所在地 伊勢崎市野町

担当者 石川真理子・廣津英一

遺跡の立地

本遺跡は、大間々扇状地桐原面西端部に立地する。標高は約119mである。遺跡西側を鑄木川が南流し、その西側に中堀東遺跡、中堀西遺跡がある。

調査の概要

本調査は、一般国道50号(前橋笠懸道路)建設事業に伴う発掘調査で、調査面積は9,849.94㎡である。

旧石器時代 旧石器確認調査でAs-YPを含むローム層とAs-BPを含むローム層から、細石刃や石核、剥片が出土し、旧石器遺跡を確認した。次年度に旧石器本調査を実施する予定である。

縄文時代 遺構は確認されなかったが、縄文土器数点が出土した。

古墳～平安時代 竪穴建物19棟、掘立柱建物1棟、土坑、ピット、溝15条を検出した。弘仁9(818)年の地震に伴う地割れによって床面がずれた竪穴建物も確認された。台地西側では、大溝群が南北方向に数条切り合う形で確認された。大溝は、埋没土上層にAs-Bが堆積し、底面近くで土器が出土した。

中・近世 掘立柱建物や土坑、ピット、溝を確認した。溝は、概ね南北に走向するが、直角に曲がる溝も見られ、区画溝の可能性が考えられる。

(石川真理子)



国土地理院 5万分の1 地形図「前橋」使用



古墳時代から近世までの集落跡(上が北)



古墳時代の竪穴建物(西から)



平安時代以前の大溝群(南から)

5 たなしたこみやま 棚下込山遺跡

所在地 渋川市赤城町棚下

担当者 鈴木佑太郎

遺跡の立地

本遺跡は赤城山西麓、利根川左岸の中位段丘面上に立地する。標高は300m前後で、利根川との比高は30m程である。調査地点は、利根川が形成した谷に向かう緩傾斜地に位置する。

調査の概要

本調査は、一般国道17号(綾戸バイパス)建設事業に伴う発掘調査で、調査面積は364.85㎡である。本遺跡は、令和元年度と令和3年度にも調査が行われている。本年度調査区と隣接する令和元年度調査区では、縄文時代の土坑や前期から中期までの遺物が多量に出土している。調査面はHr-FP上面を1面、Hr-FP下面の黒色土層を2面、ローム層上層を3面として調査を行った。

旧石器時代 旧石器確認調査を行ったが、遺構・遺物は確認されなかった。ローム層下1mには利根川の河床礫が広がり、土砂崩れによる堆積も確認した。

縄文時代 土坑4基を確認した。うち1基は、断面形態が袋状を呈し、埋土中位には焼土が多量に堆積していた。時期は中期後葉に帰属する。性格は焼土廃棄土坑あるいは貯蔵穴の可能性もある。遺構外からは、中期前葉から後葉の縄文土器と打製石斧を中心とした石器が多量に出土した。

古墳時代 土坑1基を確認した。遺物の出土はなく、礫が崩落した過程でHr-FPが堆積した可能性があるため、人為的かは不明である。また森林火災で生じた焼土や炭化物が溝状に流入した痕跡も確認した。

(鈴木佑太郎)



国土地理院5万分の1地形図「沼田」使用



調査区全景(南から)



旧石器確認トレンチ全景(東から)



縄文時代の土坑(東から)

6 ^{まえばし}前橋0327・0367遺跡

所在地 前橋市飯土井町

担当者 鈴木佑太郎・飛田野正佳

遺跡の立地

本遺跡は、神沢川左岸に形成された標高約90mの微高地上に立地する。現地地形は圃場整備事業によって平坦に削平されているが、本来は神沢川によって形成された入り組んだ地形となっていた。調査地点から神沢川までの高低差は、40m程を有する。

調査の概要

本調査は、(一)苗ヶ島飯土井線社会資本総合整備事業に伴う発掘調査で、979.25㎡を調査した。調査区は、北側を2区、南側を3区とした。

縄文時代 遺構は確認されなかったが、前期後葉から後期初頭の縄文土器や石器、石製品が出土した。特に3区の8号溝(自然流路)では多く出土し、破片資料が多いことや摩滅の状況から、流れ込んできたものの可能性が高い。2区では、1面に相当する黄色砂層の下層に、早期に比定される黒色土層を確認したため、1面調査終了後、調査を行ったが遺構・遺物の発見には至らなかった。

古墳時代 竪穴建物1棟、方形周溝墓1基、土坑1基を2区で確認した。竪穴建物は、長軸3mの方形状を呈し、甕の底面を利用した転用炉を確認した。3区では、古墳時代の段階で8号溝が埋没したとみられる。

古代以降 土坑4基、ピット1基、溝7条、畑1条を確認した。2区では区画溝2条、3区では、灌漑用の溝と土坑を確認した。埋土中にはAs-Bが堆積する。畑は近世以降に帰属する。

(鈴木佑太郎)



国土地理院5万分の1地形図「前橋」使用



古墳時代の竪穴建物(北から)



古墳時代の竪穴建物遺物出土状況(西から)



方形周溝墓(北から)

7-1 保渡田押出遺跡

所在地 高崎市保渡田町

担当者 今城未知・間庭 稔

遺跡の立地

本遺跡は、榛名山東南麓の相馬ヶ原扇状地上に立地し、付近には唐沢川が南流している。標高は約140mである。周辺には、三ツ寺鍛冶街道遺跡・三ツ寺Ⅲ遺跡や保渡田東遺跡など、古墳時代後期～古代の集落遺跡が所在している。

調査の概要

本調査は、西毛広域幹線道路(高崎工区)社会資本総合整備事業に伴う発掘調査で、調査面積は3,481.68㎡である。高崎市道を挟んで西側を1区、東側を2区とした。

旧石器時代 旧石器確認調査を行ったが、石器等の出土はなかった。

縄文・弥生時代 As-CやAs-Bが混入しない埋土の土坑・ピットを確認したが、時期決定できる遺物の出土はなかった。

古墳～平安時代 竪穴建物79棟、竪穴状遺構4基、掘立柱建物11棟、道路状遺構5条、溝6条、粘土採掘坑1基、水田1面、井戸1基、土坑・ピットなどを調査した。竪穴建物は7・8世紀代が多く、土器や礫を大量に投げ込んだ例も確認された。2号道路状遺構では、波板状凹凸面を確認した。竪穴建物との切り合いから、9世紀代に使用された道路と考えられる。

中・近世 畑1面、溝11条などを調査した。As-B混土で埋没した溝は複数回の掘り直しが確認できた。本調査区より南にある何らかの施設を区画する溝と考えられるが、溝の南側には該当する時期の建物の痕跡は確認できなかった。

(今城未知)



国土地理院5万分の1地形図「前橋」使用



1区遠景(北東から)



2号道路状遺構 波板状凹凸面調査風景(北から)



1区1～3号溝(西から)

7-2 ^{みつでらかじかいどう}三ツ寺鍛冶街道遺跡

所在地 高崎市三ツ寺町

担当者 今城未知・間庭 稔

遺跡の立地

本遺跡は榛名山の東南麓、相馬ヶ原扇状地の緩斜面に立地し、遺跡の西には唐沢川が南流している。標高は約142mである。周辺には、三ツ寺Ⅲ遺跡や保渡田東遺跡など、古墳時代後期～古代の集落遺跡が所在している。

調査の概要

本調査は、西毛広域幹線道路(高崎工区)社会資本総合整備事業に伴う発掘調査で、調査面積は506.53㎡である。本年度は、前年度に設定した2B区を継続調査した。

古墳～平安時代 竪穴建物15棟、溝2条、土坑・ピットなどを調査した。

前年度調査地と同様に、竪穴建物は7世紀～8世紀前半、10世紀代に集中している。焼失住居の可能性のある111号竪穴建物では、石製紡輪が2点出土した。10世紀代の竪穴建物はカマド下にピットを持つものが多く確認された。

中・近世 As-B混土で埋没した溝を1条確認した。
(今城未知)



国土地理院5万分の1地形図「前橋」使用



111号竪穴建物遺物出土状況(南から)



111号竪穴建物石製紡錘車出土状況(南から)



101号竪穴建物カマド(西から)

8-1 ほどたあみだ 保渡田阿弥陀遺跡

所在地 高崎市保渡田町

担当者 唐沢友之・木村 収・間庭 稔

遺跡の立地

本遺跡は、北西に榛名山を望む扇状地上に立地する。井野川右岸に位置し、標高は145～147m程である。

調査の概要

本調査は、西毛広域幹線道路(高崎工区)社会資本総合整備事業に伴う発掘調査である。本年度は7・8区が調査対象であり、3,640.22㎡を調査した。As-B下面、Hr-PP泥流及び降下火山灰下面、Hr-FA泥流及び降下火山灰下面、As-C混土下面の4面の調査を実施した。

古墳時代 7区のAs-C混土下面で、畑の痕跡とみられるAs-Cを埋土に含む等間隔の浅い溝が検出された。Hr-FA下面では、東西に延びる溝を挟んで道2条とその両側に畑の畝を確認した。畑は、畝が南北方向の区画と東西方向の区画が確認されている。畝は高さが低いことから、テフラ降下時には休耕状態であったと考えられる。西部および南部では、溝5条と竪穴建物5棟が検出された。竪穴建物は、いずれもHr-FA堆積時には廃絶していた。2号竪穴建物周囲には、建物を造る際の目安として掘られたと考えられる浅い溝が巡っていた。他の竪穴建埋土からは、人骨の可能性が高い上顎骨が出土した。Hr-PP下面では、7区全域に広がる小区画水田と、その中央を東西に延びる水路とみられる溝1条を検出した。この水路は、Hr-FA下面で検出された溝の位置を踏襲している。

平安時代 7区及び8区において、前年度調査で検出されたAs-B下水田の一部及び溝、土坑を検出した。

中・近世 7区西部において中近世の溝4条を検出した。

(唐沢友之)



国土地理院5万分の1地形図「榛名山」使用



2号竪穴建物遺物出土状況(北西から)



Hr-FA下畑(上が北西)



Hr-PP下水田(上が北西)

8-2 保渡田坂詰遺跡

所在地 高崎市保渡田町

担当者 今城未知・間庭 稔

遺跡の立地

本遺跡は、北西に榛名山を望む、緩やかに南北に傾斜する井野川左岸の扇状地上に立地する。傾斜面は、近年の圃場整備により大幅に改変され、整然とした長方形の棚田状になっている。現地表は東側では水田、西側は工場地として利用されていた。標高は139m程である。

調査の概要

本調査は、西毛広域幹線道路(高崎工区)社会資本総合整備事業に伴う発掘調査で、調査面積は1,755㎡である。本年度は、2区東側部分の調査を実施した。

古墳時代 調査区中央部の低地部を除いて、As-C下、Hr-FA泥流下、Hr-FP泥流下の3面の水田を検出した。

As-C下水田は、北西から南東に傾斜しており、畦畔の方向及び水路も地形に沿っていた。畦畔の残存状態は不良で、埋没時は畦畔作成前か休耕状態であったと考えられる。水路から水田への石を利用した水口を確認できた。

Hr-FA泥流下水田は小区画水田であるが、As-C下水田同様に畦畔の残存は不良であった。

Hr-FP泥流下水田はHr-FA泥流下水田同様、小区画水田であるが、畦畔は低地部東側で明瞭に検出された。

平安時代 中央部分でAs-B下の水田を検出した。地形に沿った畦畔が確認できた。

中・近世 中央部分で南北に延びる溝を1条検出した。

(間庭 稔)



国土地理院 5万分の1 地形図「榛名山」使用



As-C下水田(北西から)



Hr-FP泥流下水田(北西から)



As-B下水田(北から)

9 ^{もとじゆく}本宿遺跡・^{まちきた}町北遺跡

所在地 安中市安中

担当者 唐沢友之・木村 収

遺跡の立地

本遺跡は、碓氷川および九十九川が東流することで形成された、河岸段丘の中位段丘面である原市・安中台地上に立地する。標高は173m前後である。

調査の概要

本調査は、(都)3・6・10号南北中央幹線(他1路線)無電柱化推進計画事業に伴う発掘調査で、1,929.47㎡を調査した。調査区の大半は最大幅3mで、南北430mに及ぶ細長い範囲の掘削となり、調査区をほぼ等分する位置にある「安中高校入口交差点」を境として北側が本宿遺跡、南側が町北遺跡となっている。

旧石器時代 調査区が狭隘のため旧石器確認調査は行えなかったが、遺構掘削深度が2m近くになった場所があり、良好なローム層の堆積が確認できた。

古墳～平安時代 竪穴建物3棟、土坑6基、ピット13基、溝5条を検出した。竪穴建物はいずれも奈良時代に帰属する。1号竪穴建物はカマドの残存状況が良好で、煙道上面を保護するために瓦が用いられていた。1号溝は、旧安中高校校庭で見つかった古代の幹線道路(推定東山道駅路)の西延長線上で検出されたことから、推定東山道駅路の南側の側溝と考えられる。駅路北側の側溝は、上下水道管の位置にあたり調査できなかった。

中・近世 中世の遺構では、幅2.5m、深さ1m以上、長さ30mを越す溝が検出され、溝の西側には固く締まった道が付随していた。近世では、As-Aの復旧坑と、中山道(旧国道18号)に接する調査区において、蔵の基礎と思われる配石遺構3基が検出された。焼継で修復された肥前系大皿破片が出土している。

(木村 収)



国土地理院5万分の1地形図「榛名山」「富岡」使用



奈良時代の竪穴建物カマド(西から)



推定東山道駅路の側溝(東から)



As-A復旧坑(南から)

10 ^{いっぽんぎ} 一本木遺跡

所在地 安中市安中

担当者 唐沢友之・木村 収

遺跡の立地

本遺跡は、碓氷川右岸の下位段丘面上に立地する。標高は159m前後である。

調査の概要

本調査は、(一)安中富岡線(西毛広域幹線道路 安中富岡工区)社会資本総合整備事業に伴う発掘調査で、調査面積は4,996.36㎡である。本年度は、西部を2～4区、東部を5～7区として調査を実施した。調査面は、As-A下面およびAs-B下面の2面である。

古代以前 As-B下水田耕作土より下層は、碓氷川の氾濫原と考えられる砂礫層となっており、遺構及び遺物は確認されなかった。

平安時代 一部を除き、厚さ数cmのAs-B一次堆積層が確認され、2～6区で水田面を検出した。また、長径1m、深さ数cmの楕円形を呈する浅いくぼみが多数検出された。一方、畦畔や水口、足跡などは一部でしか確認されなかった。このほか、集石遺構4基や溝が確認され、水口周辺では須恵器片・土師器片がまとまって出土した。

中・近世 2区において、As-A復旧坑群を3か所検出した。2号復旧坑群では、東西に平行に伸びる幅約1m、深さ数十cmの溝が多数検出され、天地返しによる農地の復旧過程を復元しうる成果が得られた。

(唐沢友之)



国土地理院5万分の1地形図「富岡」使用



As-B下水田(上が東)



As-B下耕作痕と溝(西から)



As-A復旧坑(上が南)

11 霜田遺跡

しもだ

所在地 安中市上間仁田

担当者 唐沢友之・木村 収

遺跡の立地

本遺跡は、碓氷川右岸の上位段丘面である横野台地上に立地する。標高は225m前後である。遺跡の東側を天神川が北流し、谷地を開析している。

調査の概要

本調査は、(一)安中富岡線(西毛広域幹線道路 安中富岡工区)社会資本総合整備事業に伴う発掘調査で、調査面積は2,243.63㎡である。

旧石器時代 2m×4mのトレンチを10か所設定して旧石器確認調査を行ったが、遺物は出土しなかった。

縄文時代 竪穴建物3棟、土坑67基、ピット15基、埋甕2基を検出した。いずれの遺構も、中期後半に帰属すると思われる。竪穴建物の規模については、壁を明瞭に確認できる部分が限られていたが、柱穴の位置などから想定することができた。土坑については、袋状土坑と平面形状が隅丸長方形を呈するものがあった。

古墳～平安時代 竪穴建物2棟を確認した。1号竪穴建物は調査区境で検出され、遺構の約1/2を調査した。カマドを中心に平安時代の土師器や須恵器が出土した。また、遺構ではないが、地震の痕跡が検出された。幅約1mの溝状の落ち込みで、両側には地割れが確認されている。周辺で古代の地震や地すべりの跡が見つまっていることから、古代の可能性が高い。

中・近世 As-B混土を埋土とする土坑が4基検出された。いずれも、中世に帰属すると思われる。調査区の北東部でAs-Aの堆積層を確認したが、部分的で下面から遺構は検出されなかった。

(木村 収)



国土地理院5万分の1地形図「富岡」使用



縄文時代の遺構群(南西から)



縄文時代中期の竪穴建物(北西から)



平安時代の竪穴建物(南西から)

12 ^{ふじおかし ほうぞうち} 藤岡市27包蔵地

所在地 藤岡市下栗須

担当者 飛田野正佳

遺跡の立地

本遺跡は藤岡市北部、藤岡台地の北縁部付近に立地し、北は沖積低地になる。標高は80m前後である。

調査の概要

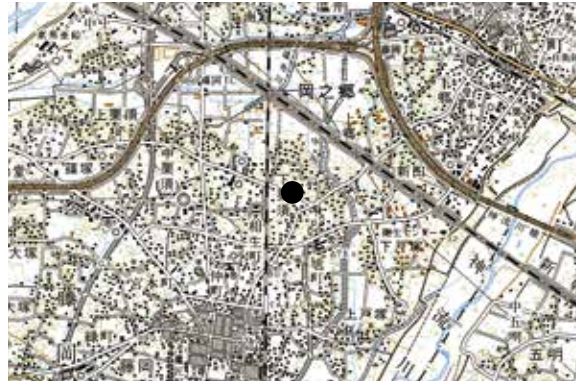
本調査は、(一)下栗須馬庭停車場線(下栗須工区)社会資本総合整備事業に伴う発掘調査で、調査面積は107.60㎡である。平成28・30年度に二度の調査が実施されており、古墳時代から古代にかけての遺構が調査されている。本年度は、10～12区の調査を実施した。本調査は、歩道拡幅整備のためのもので、各調査区は調査範囲が狭小で限定的な調査とならざるを得なかった。

旧石器時代 トレンチによる旧石器確認調査を行ったが、石器は確認されなかった。

縄文・弥生時代 遺構は確認されなかったが、表土中から打製石斧1点が出土した。

古墳～平安時代 古墳時代の竪穴建物1棟、竪穴状遺構2基、ピット16基が確認された。竪穴建物は古墳時代のもと考えられ、壁際溝を伴うものであった。竪穴状遺構2基は、古墳時代中期の遺物を伴うもので、竪穴建物と認定する根拠が乏しく、竪穴状遺構とした。ピットは、径20～30cm、深さ20～30cmほどのものを中心としている。ピットからの出土遺物は少なく時期を比定できるものは少なかった。

(飛田野正佳)



国土地理院 5万分の1地形図「高崎」使用



10区全景(西から)



1号竪穴状遺構遺物出土状況(東から)



286・287号ピット(北から)

13 にしかみのみや 西上之宮遺跡

所在地 伊勢崎市西上之宮町

担当者 宮下 寛・大木紳一郎・田村 真・
飯田浩光

遺跡の立地

本遺跡は、現在の利根川左岸で、支流である藤川との間に挟まれた微高地に立地する。現地周辺は、中世から近世の度重なる洪水によって堆積した砂層、天明泥流堆積物で厚く覆われている。

調査の概要

本調査は、一級河川利根川(伊勢崎・玉村工区)河川改修事業に伴う発掘調査で、調査面積は10,542.18㎡である。本年度は第5年次にあたる。上位から順に天明泥流・軽石、中世洪水砂層、As-B、Hr-FPとHr-FA及び泥流堆積物を鍵層として設定した。検出遺構は、竪穴建物17棟、古墳1基、水田3面、溝73条、土坑37基等である。

旧石器時代 旧石器確認調査の結果、石器は検出されなかった。

縄文時代 遺物包含層から、中期から後期の土器・石器が出土した。

古墳時代 調査区中央を縦貫する埋没谷の右岸台地で竪穴建物1棟と古墳1基、谷地内では水田が検出された。古墳は周堀の一部のみで墳形は不明である。

古 代 平安時代の竪穴建物は16棟で、遺存良好なカマドの断裁調査により燃烧部から煙道にかけて空焚きを行った状態が把握できた。水田はAs-B下で確認され、条里型地割と考えられる東西南北の畦区画が確認された。

中世以降 As-B降下以降に堆積した洪水砂層下の遺構群で、土坑32基、溝39条等が検出された。土坑のうち1基は、かわらけ・漆椀・念珠玉・銭貨を副葬する土葬墓である。

(大木紳一郎)



国土地理院5万分の1地形図「高崎」使用



遺跡全景(西から)



平安時代の竪穴建物カマド煙道(南から)



中世の土坑遺物出状況(西から)

14 ^{ひがかみ の みや} 東上之宮遺跡・^{わかみや} 若宮古墳群

所在地 伊勢崎市東上之宮町

担当者 宮下 寛・大木紳一郎・田村 真・飯田
浩光・齋藤 聡・鈴木佑太郎・迫田睦生・
飛田野正佳・麻生敏隆・松村和男

遺跡の立地

本遺跡は利根川左岸、利根川と藤川との合流点の東側に立地する。標高は約65mである。

調査の概要

本調査は、一級河川利根川(伊勢崎・玉村工区)河川改修事業に伴う発掘調査で、調査面積は19,521.02㎡である。本年度は9区の調査を実施した。

古墳時代 前年度に調査した古墳2基の南半部を検出した。

古代 As-B下の水田・畑・溝・土坑を調査した。

中・近世 中世以降では、洪水砂で埋没した水田・盛土を調査した。近世では、As-A下の水田・畑・道・溝を調査した。水田面から稲株痕、除草作業による指の痕跡、人の足跡を検出した。As-A降下面の下層には、As-A下の水田畦畔の方向や区画とほぼ一致する水田や、洪水砂に覆われた別時期の水田・畑も確認した。建物は3棟あり、1号建物から、カマド・水瓶・囲炉裏を検出した。墓地の墓A群では、40基以上の墓と石積み調査した。墓は、方形や長方形に掘り込んだ外縁に石を数段積み重ねて上面に石を敷いたもの、穴を掘っただけのものなどを検出した。人骨は、座棺や骨壺に入れたもの、焼骨をまとめたものがある。副葬品は、土器・銭・仏具等の金属製品が出土した。古墳の墳丘を利用した墓B群は、墓の外縁に石を数段積み、座棺で埋葬していた。内部から人骨や釘、銭・煙管等の副葬品が出土した。墳頂の高台には石敷きやピットがあり、陶磁器が出土した。

(宮下 寛)



国土地理院5万分の1地形図「高崎」使用



遺跡全景(西から)



近世の墓から出土した人骨(北から)



古墳を利用した近世の墓地と道(南から)

15 ひごしやくし 樋越薬師遺跡

所在地 佐波郡玉村町樋越

担当者 田村 真・飯田浩光

遺跡の立地

本遺跡は、利根川左岸の平坦地に立地する。標高は約65mである。

調査の概要

本調査は、一級河川利根川(伊勢崎・玉村工区)河川改修事業に伴う発掘調査で、調査面積は1,530.70㎡である。調査は天明泥流層下、As-A下と進めたが、その下層は厚さ2m以上の砂層が堆積しており、調査区の幅が狭いことや砂層の崩れやすさから本調査はAs-A下までとした。

近世 畑面を分断して、北西から南東方向に掘られた溝1条を検出した。底面の幅は約40cmで平らに整形されており、側面に比べ固く締まっていた。埋土に砂層が含まれないことから、As-A堆積前はまだ水を流しておらず、人の往来用に使用していた可能性が考えられる。

畑は14区画を検出した。調査区のほぼ中央を境に西側が東西方向に、東側が南北方向に畝がたてられていた。同一区画内の畝は、同じ方向から土が盛られている様子がうかがえた。作物を育てていた痕跡は確認できなかった。調査区南側では、繰り返し畑作を行っていたことが確認されたため、2か所でトレンチ調査を行い下層の状況を確認したが、遺構は検出されなかった。

(田村 真)



国土地理院 5万分の1 地形図「高崎」使用



As-A下の畑(東から)



As-A下畑を切って掘られた溝(北西から)



畑の断割り断面(南から)

16 やわたばら 八幡原遺跡

所在地 吾妻郡東吾妻町原町

担当者 飯田浩光

遺跡の立地

本遺跡は、四万川右岸の河岸段丘面に立地し、標高は約370mである。近隣には、小川古墳群、古代の集落が確認された上須郷遺跡、中世の稻荷城などの遺跡が所在する。

調査の概要

本調査は、(一)下沢渡原町線(原町工区Ⅱ期)社会资本総合整備事業に伴う発掘調査で、調査面積は537.38㎡である。本遺跡は、令和3年度から調査を行っており、令和3年度に弥生時代から古墳時代の竪穴建物5棟、令和4年度に古墳時代の竪穴建物3棟が確認されている。本年度は、縄文時代から中世の遺構・遺物が確認された。

旧石器時代 旧石器確認調査を行ったが、遺物は出土しなかった。

縄文・弥生時代 土坑17基、ピット4基を検出した。遺構は調査区東側に集中していた。土坑は平面形状が円形もしくは楕円形で、規模は最大で直径72cm、深さ18cmである。土坑からは土器や石器が出土し、10号土坑からは比較的良好に遺存する弥生土器が出土した。

古代～中世 古代の土坑を3基、古代から中世と推定される土坑を1基検出した。

(飯田浩光)



国土地理院5万分の1地形図「中之条」使用



遺跡全景(西から)



縄文時代～古代の土坑(南東から)



弥生時代の土坑土器出土状況(南から)

17 やなぎさわ 柳沢遺跡(新巻市城線)

所在地 吾妻郡東吾妻町新巻

担当者 唐沢友之・木村 収

遺跡の立地

本遺跡は榛名山北麓、北流する奥田川と泉沢川に挟まれた吾妻川右岸の上位段丘面上に立地する。周辺は山地地形が広がり、平坦地は段丘面に限られ棚田や畑地に供されている。標高は348～352m程である。

調査の概要

本調査は、(一)新巻市城線(新巻ICアクセス道路)道路改築事業に伴う発掘調査で、調査面積は863.87㎡である。前年度は東側部分を調査し、本年度は隣接する西側と町道を挟んだ南側の調査を実施した。

旧石器時代 調査区の形状に合わせ、複数のトレンチを設定して旧石器確認調査を行ったが、遺物は出土しなかった。

縄文時代 竪穴建物2棟を調査した。前年度調査した重複する竪穴建物の残存部分で約1/4を調査した。いずれも前期に帰属する。他に、土坑1基とピット2基を調査した。また、黒ボク土が前期の遺物包含層となっており、土器とともに黒曜石製の石鏃、石匙、石核などの石器が出土した。

古墳時代 前期～後期の竪穴建物7棟を調査した。うち1棟は、前年度調査した竪穴建物の残存部分で約1/5を調査した。前期～中期(3～5世紀)にかけて構築された竪穴建物は、いずれも埋没土の上層にHr-FAが堆積し、完形の土器も多数出土した。Hr-FAは複数のユニットから構成され、下位は火砕流の可能性が高い。竪穴建物の多くは焼失しており、炭化した材木も多く出土している。後期の竪穴建物はカマドが付設され、緑色の玉や紡輪が出土した。

(木村 収)



国土地理院5万分の1地形図「中之条」使用



2区全景(東から)



Hr-FAが堆積する古墳時代の竪穴建物土層断面(北から)



古墳時代後期の竪穴建物(西から)

もりしたみやばら
18 森下宮原遺跡

所在地 利根郡昭和村森下

担当者 鈴木佑太郎・飛田野正佳

遺跡の立地

本遺跡は、利根川と片品川の合流点に程近い片品川左岸に形成された段丘面西縁部に立地する。標高は約340mである。

調査の概要

本調査は、(主)昭和インター線(森下工区)バイパス社会資本総合整備事業に伴う発掘調査で、調査面積は4,071.48㎡である。

旧石器時代 礫群1基、石器ブロック6か所を確認し、石器は216点出土した。出土層位はAs-Srの上層である。ローム漸移層からは槍先形尖頭器が出土しており、2時期の文化層が確認された。

縄文時代 竪穴建物1棟と土坑4基を確認した。竪穴建物は、炉石と炉体土器を伴う前期後葉の竪穴建物である。

弥生時代 土坑10基を確認した。土坑は中期中葉に帰属し、径1m程の円形を呈する。

古墳時代 Hr-FA降下以前の竪穴建物19棟、掘立柱建物4棟、竪穴状遺構、土坑、ピット、Hr-FA降下以後、Hr-FP降下以前の竪穴建物11棟、掘立柱建物3棟、土坑100基を確認した。時期は5世紀末から6世紀前半に帰属する。途中で建設を放棄した状態の建物もみられた。

古代 竪穴建物12棟、掘立柱建物6棟、その他土坑、ピット、竪穴状遺構、焼土、集石、立石、巨石を確認した。竪穴建物の規模は6～7mのものが多く、袖から煙道まで2mに及ぶ石組カマドも確認した。

近世 斜面地を平坦に削平して造った畑と、畑を区画する石垣を確認した。

(鈴木佑太郎)



国土地理院5万分の1地形図「沼田」使用



旧石器時代石器ブロック出土状況(西から)



古墳時代面全景(上が北西)



95号竪穴建物カマド(南東から)

19 たてばやしじょうせき じょうかまち 館林城跡・城下町

所在地 館林市本町

担当者 迫田睦生・松村和男

遺跡の立地

本遺跡は館林市の市街地にあり、館林駅から東に約500mの位置に所在する。現地地形は平坦であるが、調査区の南方向は緩やかな傾斜となっており、低くなっている。館林城の城下町内の町屋部分に位置し、日光脇往還の西側にあたる。

調査の概要

本調査は、(都)3.4.11中央通り線無電柱化推進計画事業に伴う発掘調査で、調査面積は238.59㎡である。

旧石器時代 旧石器確認調査を行った結果、遺構・遺物は確認されなかった。

近世 19世紀前半の火災の痕跡と考えられる焼土層を確認し、その焼土層の下から土坑16基・ピット135基・溝2条を検出した。土坑・ピットは商家の建物に関連する地下施設や柱穴などの遺構と考えられる。また、調査区の東壁では版築層が確認されたが、この版築の性格は明確ではない。遺物は、陶磁器を主体に石製品、鉄製品、銅製品、木製品が出土した。また、銅銭・鉄銭の寛永通宝などが約700点と古銭が多量に出土した。一部中世の渡来銭も確認された。量は少ないが、他に朱塗りの木製椀やその残片もあり、多量の陶磁器類とともに当時の庶民生活の一端を知ることができる調査となった。

(松村和男)



国土地理院5万分の1地形図「古河」使用



1区1号土坑遺物出土状況(南から)



1区焼土層検出状況(南から)



1区から出土した古銭

20 ふかさわ 深沢遺跡

所在地 吾妻郡東吾妻町川戸

担当者 迫田睦生・松村和男

遺跡の立地

本遺跡は、吾妻川右岸の河岸段丘面上に立地し、南側を深沢川が西流する。標高は430m前後である。調査区西約1kmに岩櫃山がそびえる。

調査の概要

本調査は、上信自動車道吾妻東バイパス事業に伴う発掘調査で、調査面積は4,429.45㎡である。調査区西側は令和3年度に調査を行っている。

旧石器時代 トレンチを設定し、前橋泥流層上面まで旧石器確認調査を行ったが、遺構・遺物は確認されなかった。

縄文時代 中期の竪穴建物17棟、土坑99基を検出した。7号竪穴建物は径約9mの大型竪穴建物であった。壁溝が切り合っており、建て替えがあったと推定される。

弥生時代 後期の竪穴建物1棟を検出した。床面から炭化物が多く検出されたことから、焼失した竪穴建物と考えられる。

古墳時代 古墳3基を調査した。2号墳が最も残存状態がよかったが、墳丘盛土は完全になくなっていた。石室の床面付近と周堀の一部が残存していたことから、約20mの円墳と判明した。

古代 竪穴建物1棟、堀1条を検出した。堀は、令和3年度に調査された延長で、埋土にAs-Kkが堆積する。幅約7～8m、深さ約2.5mと大規模な堀であるが、詳しい時期や用途については不明である。

中・近世 As-Kk混土が堆積した土坑4基を検出した。

(迫田睦生)



国土地理院5万分の1地形図「中之条」使用



縄文時代中期の竪穴建物(北から)



2号墳(北東から)



古代の堀(西から)

21 ^{てんりゅう}天竜遺跡

所在地 吾妻郡東吾妻町川戸

担当者 齋藤 聡・麻生敏隆

遺跡の立地

本遺跡は吾妻川の右岸、榛名山北麓斜面裾部に立地し、標高は約384～400mである。本遺跡周辺には、北北東約0.3kmに素環頭太刀、辻金具、轡などが出土した下郷古墳群、北東約1.5kmに県内最古級の寺院である金井廃寺、西南西約2.0kmに中世の山城である岩櫃城跡が所在する。

調査の概要

本調査は、上信自動車道吾妻東バイパス事業に伴う発掘調査で、調査面積は7,781.48㎡である。前年度の1～3区に続き、本年度は4～9区の調査を行った。

旧石器時代 ローム土の堆積が認められた4～6区及び8区で、計11か所のトレンチを設定し旧石器確認調査を行ったが、いずれのトレンチにおいても遺構・遺物は検出されなかった。

縄文・弥生時代 縄文時代の可能性がある集石遺構1基を検出した。包含層調査では、縄文時代前期後半～中期後半、弥生時代後期の土器、石器が出土した。

古墳～平安時代 5～7世紀の竪穴建物20棟、8・9世紀の竪穴建物5棟、土坑32基、ピット48基などを検出した。このうち6世紀の30号竪穴建物からは、頸部が欠損した状態の提瓶が出土した。また、1号窪地からは「大」などと書かれた墨書土器が多数出土した。

中・近世 屋敷跡1棟、土坑19基、ピット49基、溝7条を検出した。このうち21号溝は中世の崖端城の堀と考えられ、堀の上端部周辺にはピットが集中していた。

(齋藤 聡)



国土地理院5万分の1地形図「中之条」「四万」使用



遺跡遠景(南西から)



平安時代の竪穴建物(西から)



平安時代の墨書土器(南西から)

22-1 ^{いわい やまね} 岩井山根B遺跡

所在地 吾妻郡東吾妻町岩井

担当者 田村 真・池田 格・飯田浩光・
篠原正洋

遺跡の立地

本遺跡は、吾妻川右岸の河岸段丘面上に立地し、榛名山北麓の山地斜面裾部との変換点付近にある。標高は370m前後である。

調査の概要

本調査は、上信自動車道吾妻東バイパス事業に伴う発掘調査で、調査面積は8,599.01㎡である。テフラは上からAs-Kk、As-B、Hr-FA、As-YPkの一次堆積層が確認できる。

旧石器時代 3地点で旧石器確認調査を実施したが、遺構・遺物は検出されなかった。

縄文時代 土坑9基、溝1条を検出した。土坑は形状から陥穴と考えられるものが多い。

古墳時代 Hr-FA下の竪穴建物4棟、畑4面、ピット3基を検出した。竪穴建物では、規模が小さく時期的に古い建物と、規模が大きく床面が高い新しい建物が重複していた。カマドの位置はどちらの建物も同じで、東壁に対して垂直ではなく、やや斜めに軸を傾けて設置されていた。畑はFA層の下から明瞭な畝サクを検出した。遺物は遺構外から樽形甕の破片が出土した。

古代 Hr-FA上の畑18面、土坑1基、ピット6基、溝13条を検出した。畑はFA層を掘り込む明瞭なサクの跡を検出した。畝サクの方向の違いから耕作が数時期にわたって継続されていたと考えられる。

中・近世 掘立柱建物4棟、畑1面、井戸1基、竪穴状遺構1基、土坑41基、溝22条、柱穴列1列、ピット48基を検出した。

(篠原正洋)



国土地理院5万分の1地形図「中之条」使用



古墳時代の竪穴建物(西から)



古代の畑(上が南)



中・近世の掘立柱建物(北から)

22-2 おだざわ 小田沢遺跡

所在地 吾妻郡東吾妻町岩井

担当者 田村 真・池田 格・飯田浩光・
篠原正洋

遺跡の立地

本遺跡は榛名山北麓、吾妻川右岸の河岸段丘南端部に立地する。標高は370m程である。吾妻川の対岸にあるJR吾妻線中之条駅からは南に1.6km程である。

調査の概要

本調査は、上信自動車道吾妻東バイパス事業に伴う発掘調査で、本年度は7～9区5,072.12㎡を調査した。調査は第3年次にあたる。

旧石器時代 旧石器確認調査を行ったが、遺物は出土しなかった。

縄文時代 土坑を1基検出した。土坑の形状から、陥し穴の可能性が考えられる。

古墳時代 Hr-FA下で小区画水田等を検出した。水田の残りは非常によく、水口には水の流れた跡、田面や畦畔の上からは無数の人の足跡も残っていた。水田を被覆しているHr-FAの中からはイネの植物遺体(稲籾)を検出した。水田に伴う溝も検出され、埋土中から高杯が出土した。

奈良・平安時代 As-B下で水田2面や溝10条を検出した。水田の畦畔の残りはあまりよくない状態であったが、人為的に造られたと考えられる段差を検出することができた。75号溝からは古代の瓦片も出土した。

中・近世 土坑4基、ピット9基、溝9条、柵列2列、畑3面等を検出した。ほとんどの遺構埋土にAs-Kk及びAs-Bが含まれていた。

(池田 格)



国土地理院5万分の1地形図「中之条」使用



縄文時代の土坑(北から)



Hr-FA下の小区画水田(上が北)



As-B下水田(上が北)

23 さわのうえ 沢ノ上B遺跡

所在地 吾妻郡東吾妻町植栗

担当者 池田 格・篠原正洋

遺跡の立地

本遺跡は吾妻川の右岸、榛名山北麓を吾妻川に向かって北東流する西沢川によって開析された左岸段丘面上に立地する。標高は360m前後である。北方約1kmの吾妻川を望む段丘崖上には、中世に築かれたとされる植栗城址がある。

調査の概要

本調査は、上信自動車道吾妻東バイパス事業に伴う発掘調査で、調査面積は3,959.47㎡である。テフラは上からAs-Kk、As-B、Hr-FAが確認できる。また、数層におよぶFA層中には、ローム質泥流堆積物層も確認された。

旧石器時代 井戸等の断割り調査を兼ねて下面の土層を確認したが、ローム層は検出されなかった。

古代 Hr-FA上面の溝1条、土坑1基、ピット1基を検出した。溝は地形の傾斜に沿って南北方向に走行していた。

中・近世 掘立柱建物7棟、井戸8基、土坑88基、溝1条、柱穴列5列、ピット496基を検出した。掘立柱建物やピット、井戸等が数多く検出されたことから、集落が形成されていたことが推測できる。土坑の多くは竪穴状遺構として捉えられるものであり、その中のいくつかは掘立柱建物に共伴している可能性がある。井戸は8基全てが素掘りで、検出面から3mを超える深さのものもあった。

(篠原正洋)



国土地理院5万分の1地形図「中之条」使用



古代の溝(北から)



中・近世の掘立柱建物(上が西)



中・近世の井戸(西から)

24 小泉天神西遺跡

所在地 吾妻郡東吾妻町小泉

担当者 齋藤 聡・麻生敏隆

遺跡の立地

本遺跡は榛名山北麓、吾妻川右岸の上位段丘面上に立地する。遺跡の東側は段丘崖となり、その下の段丘面に新巻膝附遺跡が位置する。遺跡地は、南から北へ傾斜するとともに西から東へ緩やかな傾斜がみられる。標高は370m前後である。

調査の概要

本調査は、上信自動車道吾妻東バイパス事業に伴う発掘調査である。Hr-FA上面、Hr-FA下面、ローム層上面の3面を遺構確認面として、876㎡を調査した。

旧石器時代 2m×2mのトレンチを4か所設定して、旧石器確認調査を実施した。前橋泥流層上面まで掘削したが、遺構・遺物は確認できなかった。

縄文時代 中期の楕円形の土坑5基とピット4基を検出した。さらに、調査区内の3か所で前期後半から中期前半にかけての土器や石器が集中して出土した。

古墳時代 Hr-FA下面の調査で、土坑2基、ピット11基を検出した。

中・近世 Hr-FA上面の調査で、掘立柱建物1棟を検出した。掘立柱建物は桁行3間、梁行2間の南北棟の側柱建物であるが、南辺の棟持柱は確認されなかった。

(麻生敏隆)



国土地理院5万分の1地形図「中之条」使用



遺跡全景(西から)



縄文時代中期の土坑(南東から)



中近世の掘立柱建物(南から)

25 ^{あらまきひぎつき} 新巻膝附遺跡

所在地 吾妻郡東吾妻町小泉

担当者 唐沢友之・池田 格

遺跡の立地

本遺跡は榛名山の北麓、吾妻川に向かって北流する泉沢川によって形成された左岸段丘面に立地する。段丘面の東西幅は130m程、標高は350m程である。西側の一段高い吾妻川上位段丘面に小泉天神西遺跡、泉沢川を挟んで東側の上位段丘面に月夜野A遺跡が所在する。

調査の概要

本調査は、上信自動車道吾妻東バイパス事業に伴う発掘調査で、調査面積は872.66㎡である。本年度は、前年度調査区の西側部分の調査を行い、竪穴建物、掘立柱建物、土坑などを検出した。

旧石器時代 トレンチを設定して旧石器確認調査を行ったが、遺物は確認されなかった。

縄文時代 遺構は検出されなかったが、前期～中期の土器片が出土した。

古墳～平安時代 古墳時代の竪穴建物1棟、土坑5基、奈良・平安時代の掘立柱建物2棟、溝4条、ピット17基を検出した。古墳時代の竪穴建物については、前年度に調査を行った竪穴建物の西側部分にあたる。埋土上層にHr-FAが堆積し、埋土中からは炭化材が複数出土した。奈良・平安時代の掘立柱建物は、1棟が径1m前後の柱穴をもつ1間×2間の南北棟の建物で、前年度に調査された布掘りをもつ掘立柱建物と方位軸が近く、北辺の位置を揃えて側柱列間で18m程西方で検出された。もう1棟は、径40cm前後の柱穴をもつ1間×3間の、北に対してやや東に振れる南北棟の建物であった。

中・近世 部分的にAs-Kkの堆積が認められ、その上面で溝2条、ピット9基を検出した。

(唐沢友之)



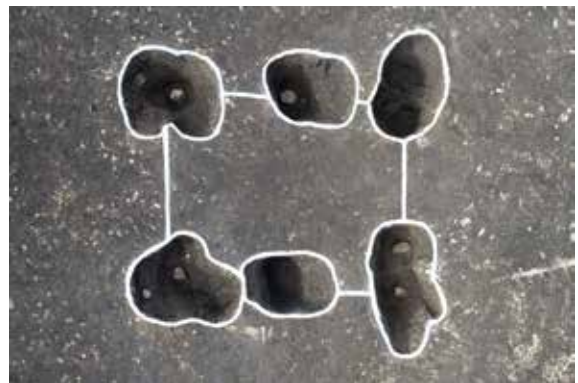
国土地理院 5 万分の 1 地形図「中之条」使用



古墳～平安時代の遺構全景(上が南)



古墳時代の竪穴建物西側部分(東から)



奈良・平安時代の掘立柱建物(上が西)

各遺跡の調査概要

26 つきよの 月夜野A遺跡

所在地 吾妻郡東吾妻町新巻

担当者 須田正久・小林 徹

遺跡の立地

本遺跡は榛名山北麓、吾妻川右岸の上位段丘面上に立地する。遺跡の北東側は吾妻川による段丘崖、西・南・東側は泉沢川や小河川によって開析された谷が入り込み、島状の台地となっている。標高は約371mを測る。

調査の概要

本調査は、上信自動車道吾妻東バイパス事業に伴う発掘調査で、調査面積は4,583.04㎡である。調査は、As-KkやHr-FA等のテフラを基準に3面調査を行い、縄文時代から中近世までの遺構を検出した。

旧石器時代 調査区ごとに2m×4mのトレンチを設定し、前橋泥流層上面まで旧石器確認調査を行ったが、石器は出土しなかった。

縄文時代 竪穴建物22棟、埋設土器1基、土坑273基、ピット545基を検出した。遺構は前期に帰属するものが主体であるが、早期鶴ヶ島台式期の土坑も確認されている。遺物は、磨製石斧、石匙などの石器が数多く出土したほか、破損した玦状耳飾りを再加工した装飾品が出土した。

弥生時代 遺構は確認されなかったが、土器小片が数点出土している。

古墳時代 Hr-FAが堆積する場所もあったが、古墳時代と考えられる遺構は確認されなかった。

奈良・平安時代 Hr-FAの二次堆積層で埋没したピット5基を検出した。遺物は土師器小片が数点出土している。

中・近世 ピット5基、畑11区画、溝3条、溝状遺構6条を検出した。畑は調査区西側に集中し、東西方向に耕作されているものがほとんどである。畑や溝からは陶磁器の小片が出土している。

(須田正久)



国土地理院5万分の1地形図「中之条」使用



縄文時代の遺構群(北東から)



縄文時代8号・12号竪穴建物遺物出土状況(南西から)



縄文時代尖底土器出土状況(南東から)

27 やなぎさわ 柳沢遺跡

所在地 吾妻郡東吾妻町新巻

担当者 須田正久・小林 徹

遺跡の立地

本遺跡は榛名山北麓、吾妻川右岸の上位段丘面上に立地する。標高は360m前後を測る。遺跡の北西側には深い谷が入り込んでおり、この谷を隔てた対岸に月夜野A遺跡がある。

調査の概要

本調査は、上信自動車道吾妻東バイパス事業に伴う発掘調査で、調査面積は6,806.37㎡である。調査は、Hr-FAを基準に3面調査を行い、縄文時代から中近世までの遺構を検出した。

旧石器時代 調査区ごとに2m×4mのトレンチを設定し、前橋泥流層上面まで旧石器確認調査を行ったが、石器は出土しなかった。

縄文時代 前期から中期の竪穴建物28棟、列石2列、埋設土器11基、土坑500基、ピット397基を検出した。竪穴建物は3棟が前期諸磯式期で、25棟は中期加曾利E1～4式に帰属すると考えられる。竪穴建物の多くはやや楕円形の形状で、中央部に長方形の石囲炉を付設している。列石は、後世の削平により部分的に消失しているが、全長約20mで等高線に沿う形で弧状に2列確認された。時期は、中期末葉加曾利E4式期と考えられる。

弥生時代 竪穴建物5棟を検出した。竪穴建物からは古墳時代の土器も多く出土したが、建物の形状や遺物の出土層位から弥生時代の遺構と判断した。

古墳時代 竪穴建物3棟を検出した。これらはHr-FAを掘り込んで構築しており、遺物から6世紀後半と考えられる。

奈良・平安時代 竪穴建物4棟を検出した。出土遺物から7～8世紀の所産と考えられる。

中・近世 土坑13基、ピット20基、溝4条、畑2区画を検出した。

(須田正久)



国土地理院5万分の1地形図「中之条」使用



縄文時代の遺構群(北東から)



縄文時代の竪穴建物(西から)



縄文時代の土坑出土遺物(東から)

28 はこじましもよりい 箱島下寄居遺跡

所在地 吾妻郡東吾妻町箱島

担当者 齋藤 聡・迫田睦生・麻生敏隆・
松村和男

遺跡の立地

本遺跡は榛名山北麓、吾妻川右岸の上位段丘面上に立地する。遺跡の北側は吾妻川によって形成された段丘崖で、その段丘崖が遺跡東側に挟むように入り込み、また西側を千沢川が北流して谷を開析することで、北に延びる舌状台地となっている。標高は330m前後である。

調査の概要

本調査は、上信自動車道吾妻東バイパス事業に伴う発掘調査である。Hr-FA上面、Hr-FA下面、黒色土層下面、ローム層上面の4面を遺構確認面として、3,629.56㎡を調査した。

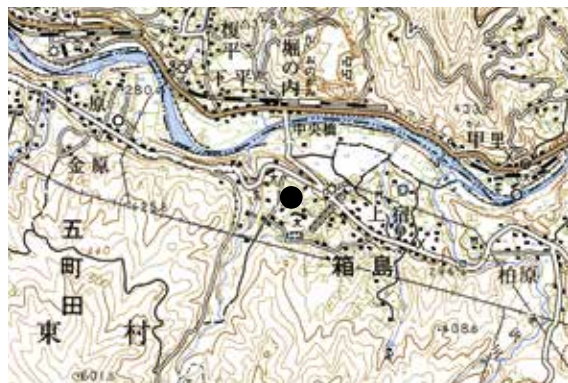
旧石器時代 2m×2mのトレンチを7か所設定して、旧石器確認調査を実施した。前橋泥流層上面まで掘削したが、遺構・遺物は確認できなかった。

縄文時代 前期から後期にかけての土坑188基、ピット791基を検出した。このうち袋状土坑2基は前期後半の土器を伴っており、このうちの1基からは垂飾が出土した。ピット群は地形の変換点に沿うように集中する傾向が認められた。

古墳時代～古代 Hr-FA下面の調査では、土坑6基、ピット7基、畑1区画を検出した。畑の調査では、南北方向の畝間にHr-FAが筋状に堆積している状況が確認できた。また、Hr-FA上面の調査では、耕作に伴うと考えられる工具痕を検出した。

中・近世 埋没土中にAs-Kkを含む土坑4基、溝2条を検出した。このうち溝1条は前年度に調査した西側の調査区でも確認されており、土地利用の区画を示すものと考えられる。

(麻生敏隆)



国土地理院5万分の1地形図「中之条」使用



縄文時代前期の土坑から出土した土器(南から)



縄文時代前期の土坑から出土した垂飾(南から)



近世の溝(西から)

29 くらののしもひごし 倉賀野下樋越遺跡

所在地 高崎市倉賀野町

担当者 齋藤 聡

遺跡の立地

本遺跡は、烏川左岸の高崎台地上に立地し、標高は83m前後である。地形はほぼ平坦で、北西から南東に向かって緩やかに傾斜している。本遺跡の南に隣接する倉賀野上樋越遺跡3 A区からは、溝によって区画された奈良・平安時代の掘立柱建物群が検出されており、郡家別院や豪族居宅などの可能性が指摘されている。

調査の概要

本調査は、倉賀野交番建設事業に伴う発掘調査で、調査面積は141.14㎡である。

旧石器時代 トレンチを2か所設定して旧石器確認調査を行った。As-YPの堆積は確認できたものの、いずれのトレンチにおいても遺構・遺物は検出されなかった。

奈良・平安時代 竪穴建物3棟、井戸1基、溝4条、土坑3基、ピット27基を検出した。遺物は9世紀後半を中心に、8世紀から10世紀にかけての土師器、須恵器、緑釉陶器などが出土した。竪穴建物3棟は調査区の北寄りに集中し、重複した状態で検出された。いずれも9世紀後半代のもので、西から東へと古い建物を壊しながら建て替えられていった状況が確認できた。また、井戸1基については、出土遺物から竪穴建物と同時期のものである可能性が高いと考えられる。

中・近世 埋没土中にAs-Bを含む溝1条、ピット2基を検出した。

(齋藤 聡)



国土地理院5万分の1地形図「高崎」使用



遺跡遠景(北から)



平安時代の竪穴建物(西から)



平安時代の竪穴建物から出土した緑釉陶器(南から)

V 付 篇：群馬県内の埋蔵文化財関連事業

1 令和5年度群馬県内発掘調査一覧

番号	遺跡名	所在地	担当	原因、面積㎡	期間	主な内容
1	群馬県地域創生部 文化財保護課 県内遺跡	群馬県内	文化財保護課 阿久津聡 石田 真 小林 正 青木亮子 萩原清香	令和5年度群馬 県内公共開発に 伴う県内遺跡発 掘調査	令5.4.1～ 令6.3.31	試掘・確認調査
1	前橋市 総社古墳群愛宕山 古墳	総社町総社	市教委 福田貫之	範囲内容確認・ 29	令5.10.2～ 令5.11.30	古墳1、古代墓坑1、近世墓3、近代溝
2	上野国府等範囲内 容確認調査	元総社町	市教委 池田史人 浅野孝利	範囲内容確認・ 506	令5.5.31～ 令5.12.28	古墳竪穴建物4、古代礎石建物1・竪穴建 物3・溝3、中世溝3・土壇墓3・井戸6
3	元総社蒼海遺跡群 (149)	元総社町	山下工業(株) 関口信夫 永井智教	区画整理事業・ 626	令5.5.15～ 令5.7.31	中～近世土坑6・井戸8・溝7・土 壇墓1・掘立柱建物14・柵列2・地下 式坑1
4	元総社蒼海遺跡群 (150)	元総社町	市教委 齋藤 颯 村越純子	区画整理事業・ 1,084	令5.6.1～ 令6.2.14	縄文～平安時代竪穴建物・溝・井戸・道 路状遺構・土坑・中世溝・土坑ほか
5	元総社蒼海遺跡群 (151)	元総社町	(株)毛野考古学研究所 土井道昭	区画整理事業・ 45.9	令6.3.4～ 令6.3.29	古墳時代～中近世溝・道路状遺構・井 戸・硬化面
6	鶴光路油免遺跡	鶴光路町	(株)毛野考古学研究所 高橋清文 松本喜臣	事務所建設・724	令5.5.29～ 令5.7.4	古墳Hr-FA下水田、平安As-B下水田、中 世環濠遺構
7	南部拠点遺跡群 No.13	鶴光路町	技研コンサル(株) 前田和昭 曾根 裕	店舗建築・1,240	令5.10.30～ 令5.12.11	平安As-B下水田、中世溝・土坑
8	西善毘沙門遺跡	西善町	(株)毛野考古学研究所 井上 太 上原真澄	道路建設事業・ 850	令5.11.8～ 令5.12.25	平安水田、中世溝・土坑・不明遺構
9	池端東耕地遺跡	池端町	(株)毛野考古学研究所 宮田忠洋	貯水池建設・ 1,378	令6.2.16～ 令6.3.29	古墳～奈良竪穴建物10・溝3・土坑3・ ピット列・ピット群
1	高崎市 多胡碑周辺遺跡13 次	高崎市吉井町 池	市教委 小根澤雪絵・ 櫻井 条 飯島克巳	遺跡範囲確認調 査・259	令5.7.4～ 令5.11.7	古代竪穴建物1、中世溝1
2	上野国分尼寺跡7 次	高崎市東国分 町	市教委 田辺芳昭 金子智一	寺跡範囲確認調 査・500	令6.2.2～ 令6.3.15	古代竪穴建物1・中世溝
3	倉賀野浅間山古墳 2次	高崎市倉賀野 町	市教委 小根澤雪絵 櫻井 条 飯島克巳	古墳範囲確認調 査・60	令5.4.1～ 令6.3.29	国史跡浅間山古墳外堀
4	若田金堀塚遺跡5 次	高崎市若田町	市教委 南雲博文 田村 孝 小野和之	若田浄水場1系 沈殿池更新工事・ 1,000	令5.4.10～ 令5.8.30	古墳円墳1・土坑14
5	東町遺跡8次	高崎市東町	市教委 和田健一 宮下昌文	労使会館建替・ 1,300	令5.3.1～ 令6.3.29	古代水田、近代工場跡
6	下之城遺跡群12次	高崎市倉賀野 町	市教委 小根澤雪絵 櫻井 条 飯島克巳	土地区画整理事 業・1,356	令5.4.1～ 令6.3.29	古墳溝8・土坑1・柱穴3、古代水田・ 溝10・土坑21・井戸4・ピット56・不 明遺構2、中世城館堀1
7	榎高遺跡群23次	高崎市榎高町	市教委 須永 忍 神戸聖語	土地区画整理事 業・956	令5.4.10～ 令6.3.26	古墳円墳1・畝
8	中豊岡藤川遺跡2 次	高崎市中豊岡 町	市教委 田辺芳昭 伊藤 肇 小野和之	新駅設置事業・ 800	令5.7.3～ 令6.2.1	古墳竪穴建物1・礫敷遺構1、古墳～ 古代掘立柱建物1、古代竪穴建物42

番号	遺跡名	所在地	担当	原因、面積㎡	期間	主な内容
9	しもたき 下滝遺跡群	高崎市下滝町	市教委 大野義人 矢島 浩 深澤みどり 秋元恵里子	産業団地造成事 業・3,199	令5.4.1～ 令6.3.29	古墳竪穴建物27・溝1、古代竪穴建物 1、中世溝
10	しほくよこて ちくぐち 宿横手樋口遺跡6 次	高崎市宿横手 町	市教委 矢島浩 秋元恵里子	市道築造工事・ 270	令5.9.1～ 令5.12.28	古墳水田・溝、古代竪穴建物3
11	とん や まちよんちよう め 問屋町四丁目遺跡	高崎市問屋町 四丁目	市教委 和田健一 宮下昌文	雨水貯留槽設置・ 144	令5.9.12～ 令6.3.29	中世溝
12	わかた むらまゑ 若田村前遺跡6次	高崎市若田町	市教委 南雲博文 田村 孝	市道改良工事・ 120	令6.1.11～ 令6.3.25	古墳～古代竪穴建物5・土坑4・ピッ ト70以上
13	きたやつ 北谷遺跡	高崎市引間町	市教委 山本ジェームズ 藤守崇洋	保存目的の確認調 査・220	令5.9.4～ 令5.10.20	史跡北谷遺跡竪穴建物・柵列
14	うしやま 漆山古墳	高崎市下佐野 町	市教委 櫻井条 専修大学 高久健二 小林孝秀	学術研究・9.75	令5.8.14～ 令5.9.2	市史跡漆山古墳
15	ほ だ た なかざとまゑ 保渡田中里前遺跡 3次	高崎市保渡田 町	㈱歴史の杜 渡邊大士	工場建設・5,467	令5.4.14～ 令5.7.26	縄文土坑4・ピット1、古墳竪穴建物 10・円墳2・竪穴式小石塚2・畠・土 坑2・溝1、古代竪穴建物6・井戸 1・土坑13・溝7、古代～中世掘立柱 建物2・道路状遺構1・土坑5・溝7
16	つくなわまち 筑縄町遺跡	高崎市筑縄町	㈱高澤考古学研究所 澤田福宏	病院建設・1,862	令5.1.30～ 令5.4.13	古墳水田、古代水田・溝2・土坑2
17	なかいげんじゅうおうどう 中泉十王堂遺跡5 次	高崎市中泉町	㈱毛野考古学研究所 土井道昭	建売住宅建設・ 158	令5.3.1～ 令5.4.18	古墳竪穴建物6・溝1、古代～中世以降 柵列、古代以降土坑7、中世以降竪穴状 遺構1・土坑15・溝3・ピット204・畠1
18	なかさと み ねがし 中里見根岸遺跡5 次	高崎市中里見 町	技研コンサル㈱ 松村春樹	店舗建設・715	令5.3.20～ 令5.6.6	古墳竪穴建物1、古代竪穴建物10・溝 1・井戸3・土坑10・ピット20、中世 以降畠2
19	なかおおいおきた 中大類沖田遺跡2 次、中大類新井西 遺跡2次	高崎市中大類 町	㈱高澤考古学研究所 山崎芳春	学校建設・4,880	令5.3.1～ 令5.9.11	古代水田
20	しほおおいつかの こし 宿大類塚之越遺跡 3次	高崎市宿大類 町	山下工業㈱ 永井智教	工場建設・ 26,517	令5.5.10～ 令6.3.31	縄文包含層、弥生水場遺構、古墳～古 代竪穴建物・溝・水田
21	はぎわらのやぶの うち 萩原柳ノ内遺跡	高崎市萩原町	技研コンサル㈱ 佐野良平	工場建設・3,862	令5.6.1～ 令5.8.31	古墳前期水路1・Hr-FA洪水層下水田・ 溝2、古代水田
22	かみなかい う なむら 上中居字名室遺跡 3次	高崎市上中居 町	㈱高澤考古学研究所 山崎芳春	集合住宅建設・ 86	令5.10.2～ 令5.10.31	古墳竪穴建物6・土坑
23	やちのおおしまぼら 八幡大島原遺跡2 次	高崎市八幡町	㈱高澤考古学研究所 澤田福宏	賃貸集合住宅建 設・140	令5.10.10～ 令5.11.30	古墳竪穴建物4・土坑2・ピット19
24	くらが の やくしまゑ 倉賀野薬師前遺跡	高崎市倉賀野 町	㈱測研 田中浩江	建売住宅建設・ 446	令5.11.6～ 令5.12.22	古墳竪穴建物1・中世溝12・井戸1・ 竪穴建物4・掘立柱建物5・土坑39・ ピット223、近世土坑1
25	みなおおいにしおき 南大類西沖遺跡	高崎市南大類 町	㈱高澤考古学研究所 山崎芳春	宅地造成・398	令6.3.1～ 令6.3.29	古代水田・溝2・土坑2・ピット1
26	こ が ぎ せらがら 小八木村東遺跡2 次	高崎市小八木 町	㈱毛野考古学研究所 松本喜臣 宮本久子	宅地造成・151	令6.3.1～ 令6.3.19	古代水田、中近世土坑3
1	まがらうし 桐生市 新川-14遺跡	桐生市新里町 新川	市教委 加部二生	農地改良・4	令5.6.6～ 令5.6.11	時期不明炭窯跡1
2	なかざとうら 中里後遺跡	桐生市広沢町 一丁目	市教委 新井雅幸	宅地造成・391	令5.8.22～ 令5.11.13	縄文土坑23、古墳竪穴建物1、古代竪 穴建物1・建物1、時期不明溝状遺構 5・ムロ状遺構4・風倒木2・ピット 70

番号	遺跡名	所在地	担当	原因、面積㎡	期間	主な内容
1	伊勢崎市 今泉本郷南遺跡	伊勢崎市今泉 町一丁目	山下工業(株) 関口信夫	建売分譲地造成・ 79	令5.4.10～ 令5.4.27	古墳竪穴建物8、中世以降溝1・土坑 2・井戸2
2	下武士・宮谷戸遺跡	伊勢崎市境下 武士	(株)毛野考古学研究所 河野一也	道路築造・190	令5.6.8～ 令5.7.22	縄文竪穴建物、中世溝1
3	喜多町遺跡	伊勢崎市曲輪 町、太田町	(株)毛野考古学研究所 浅間 陽	区画整理・180	令5.6.12～ 令5.7.13	縄文溝2、古墳～古代溝7、古墳以降 土坑2、近世以降井戸1・ピット33
4	伊勢崎城跡	伊勢崎市曲輪 町	山下工業(株) 永井智教	区画整理・190	令5.7.7～ 令5.9.25	中近世土坑・溝・井戸・土壇墓・馬埋 葬跡、ピット、掘立柱建物
5	見切塚古墳群・見切 塚遺跡、田向遺跡	伊勢崎市赤堀 今井町二丁目	(株)ラクロ 林 邦雄	倉庫建設・1,600	令5.7.10～ 令5.10.27	縄文土坑1、古墳竪穴建物1・円墳1・ 土坑1、中世以前ピット1、中世以降 溝4・ピット2
6	喜多町遺跡	伊勢崎市曲輪 町、太田町	(株)毛野考古学研究所 浅間 陽	区画整理・260	令5.11.20～ 令6.3.15	古墳周溝墓6・性格不明遺構1、縄文～ 近代土坑21、古墳以降溝12、近世井戸 1、ピット30
7	三軒屋遺跡	伊勢崎市上植 木本町	市教委 横澤真一 高山一也	内容確認・44	令5.11.22～ 令5.12.25	古代掘立柱建物1・溝状遺構1・土坑 2・ピット
8	八坂遺跡	伊勢崎市波志 江町	山下工業(株) 木下 実	工場建設・492	令5.12.25～ 令6.2.29	縄文包含層、縄文土坑8、古墳竪穴建 物1・周溝墓3・古墳周溝1、近世土坑 19、集石遺構4、道路状遺構1
1	太田市 藤久良住吉遺跡	太田市藤久良 町	市教委 長谷川幸男	建売分譲・120	令5.6.1～ 令5.6.30	古墳溝3・竪穴建物3、古代溝1、古代 以降溝1、中世土坑1、近世以降溝3・ 土坑1、不明土坑1・ピット21
2	北之庄遺跡	太田市由良町	市教委 岩井直人	集合住宅・114	令5.10.17～ 令5.11.13	古墳竪穴建物2、古代～近世溝5・ 土坑1、不明竪穴建物1
3	鳥山寺中遺跡	太田市鳥山上 町	(株)毛野考古学研究所 和久裕昭	建売分譲の道路 建設・240	令5.11.1～ 令5.12.12	古墳竪穴建物1、中近世溝6・土坑5・ ピット22・柵列1
4	北宿遺跡・上江田城 館跡	太田市新田上 江田町	市教委 長谷川幸男	道路側溝新設・ 208.6	令5.11.30～ 令6.2.2	縄文土坑2、古墳竪穴建物2、(縄文・ 古墳・中世)ピット44、中世土坑7・堀溝 6・土塁3・虎口1・城道1・掘立柱建物 2・竪穴建物1、中近世ピット13、中世 ～近代堀1、近現代土坑1・溝2、不明 井戸2
1	沼田市 林ノ上遺跡・高野原 遺跡・佐々木遺跡	沼田市横塚町	市教委 向出博之	産業団地整備・ 68,964	令5.4.1～ 令6.3.31	旧石器時代遺物集中ブロック3、縄文 時代陥穴604・竪穴建物3・石器製作跡 1、古墳円墳8・竪穴建物3、古代竪 穴建物1
1	渋川市 群馬用水分郷八崎 遺跡	渋川市北橋町 小室	市教委 後藤佳一	農地補修・9.1	令5.4.24～ 令5.4.25	中世地下式坑1
2	八木原城跡	渋川市八木原	市教委 高林真人	道路新設・17.6	令5.6.6～ 令5.6.21	古代～中世溝1、中世土坑6・ピット72
3	宮廻遺跡	渋川市北橋町 箱田	市教委 水谷貴之	個人住宅建設・ 67.6	令5.6.23～ 令5.7.7	古代竪穴建物1・ピット110
4	中郷西組東遺跡	渋川市中郷	市教委 水谷貴之	個人住宅建設・ 54.5	令5.10.13～ 令5.10.31	古墳竪穴建物2
5	半田築地前遺跡	渋川市半田	市教委 高林真人	宅地造成・35	令5.11.6～ 令6.11.15	古代竪穴建物、時期不明溝2・土坑3・ ピット3
6	半田薬師遺跡群	渋川市半田	市教委 水谷貴之	宅地造成・61.3	令6.1.17～ 令6.1.29	古代竪穴建物2、時期不明溝1
1	藤岡市 下栗須伊勢塚B遺跡	藤岡市下栗須	パリオ・サーヴェイ(株) 高野和弘	分譲住宅用地造 成・255.7	令5.2.20～ 令5.4.25	古墳～平安竪穴建物14、中世炉1ほか
2	保美地区遺跡群	藤岡市保美	市教委 齋藤直樹	農業基盤整備事 業・5,350	令5.11.21～ 令6.3.12	古代竪穴建物17ほか
3	白石稲荷山古墳	藤岡市白石	市教委 齋藤直樹	史跡内容確認調 査・130	令5.8.21～ 令5.12.10	古墳

番号	遺跡名	所在地	担当	原因、面積㎡	期間	主な内容
4	小林野見塚遺跡 こばのの みづか こばのの みづか	藤岡市小林	(株)毛野考古学研究所 高橋清文	病院建設・2,189	令5.10.2～ 令5.11.24	古代竪穴建物2・溝1、中世井戸ほか
1	安中市 町北遺跡 あんなかし まちきた まちきた	安中市安中 二丁目	市みりよく創出部文 化財課 鳥居貴庸	庁舎建設工事・ 5,000	令5.4.1～ 令5.8.31	古代建物2・道路状遺構1・溝5・土坑 150、中世土坑150
2	五料丙小竹遺跡 ごりょうへい おだけ ごりょうへい おだけ	安中市松井田 町五料	市みりよく創出部文 化財課 関根史比古	倉庫建設工事・ 50	令6.1.9～ 令6.1.12	古代竪穴建物1
1	みどり市 上ノ宿野中遺跡第 2地点 みどろし うなのしほくのなか うなのしほくのなか	みどり市大々 間町上神梅	市教委 萩谷千明	農地改良・226	令5.4.12～ 令5.4.24	縄文中期後葉竪穴建物1、土坑1
2	見沢Ⅰ遺跡 みさわⅠ みさわⅠ	みどり市東町 神戸	市教委 萩谷千明	太陽光発電施設 建設・110	令5.9.13～ 令5.9.27	縄文土器・石器
3	北山遺跡第13地点 きたやま きたやま	みどり市笠懸 町阿左美	市教委 萩谷千明	開発行為に係る 事前の遺跡内容 確認・493	令5.11.10～ 令5.11.28	古代柱穴27
1	吉岡町 中御所Ⅲ遺跡 よしおかまち なかごじよ なかごじよ	吉岡町陣場	㈱飯塚組 千葉孝之	工場建設・306	令5.4.1～ 令5.4.31	古代8、古代以降溝8・土坑7
1	中之条町 東谷風穴蚕種貯蔵 所跡 なかのじょうまち あづま あづま	中之条町赤坂	町教委 堀口真太郎 田村公夫	史跡整備・15.1	令5.6.26～ 令5.9.15	明治末～昭和中期風穴、石積解体
1	長野原町 居家以岩陰群 ながの はらまち い、い、いわかげぐん い、い、いわかげぐん	長野原町長野 原	國學院大學考古学研 究室 谷口康浩	学術調査・30	令5.8.4～ 令5.9.22	縄文土器・石器・人骨・獣骨
1	嬭恋村 鎌原遺跡 つまごいねら かみはら かみはら	嬭恋村鎌原	村教委 関俊明	保存目的調査・ 97.56	令5.4.10～ 令5.9.15	遺構なし、岩屑なだれ下の天明三年埋 没延命寺裏手の斜面切通し状況を確認
1	東吾妻町 上泉遺跡 ひがしあがつままち かみいづみ かみいづみ	東吾妻町植栗	技研コンサル㈱ 高橋政充	町道改良工事・ 1,200	令5.7.1～ 令5.9.22	弥生竪穴建物1、古墳竪穴建物3・竪穴 状遺構2・溝4・ピット34、古代掘立柱 建物1・柵列1・溝1・土坑6、近世竪穴 状遺構2・畠1・溝5・土坑12
1	大泉町 川入遺跡 おおいづままち かわいり かわいり	大泉町古氷	町教委 坂本泰斗 (株)毛野考古学研究所 志村 哲	集合住宅・2,300	令6.1.15～ 令6.4.26	古墳2

2 令和5年度群馬県内整理事業一覧

番号	遺跡名	整理担当者	整理期間	調査期間	遺跡の内容
1	前橋市 総社古墳群愛宕山古墳	市教委 福田貫之	令5.12.1～ 令6.3.31	令5.10.2～ 令5.11.30	古墳1、古代墓坑1、近世墓3、近代溝
2	上野国府等範囲内容確認調査	市教委 池田史人 浅野孝利	令5.4.1～ 令6.3.22	令4.6.1～ 令5.1.30	古墳竪穴建物10、古代礎石建物1・竪穴建物40・柱穴列1・溝2、中世溝1・井戸1
3	元総社蒼海遺跡群(147)	市教委 齋藤 颯 村越純子	令5.4.1～ 令6.3.29	令4.6.2～ 令5.3.11	古代礎石建物、古墳～平安時代竪穴建物・溝・井戸・道路状遺構・土坑、中世～近世溝・土坑ほか
4	元総社蒼海遺跡群(148)	山下工業(株) 永井智教	令5.7.7～ 令6.1.10	令5.1.30～ 令5.3.17	古代溝1、中世～近世掘立柱建物7・竪穴状遺構7・土坑36・井戸6・溝5・ピット507ほか
5	元総社蒼海遺跡群(149)	山下工業(株) 関口信夫 永井智教	令5.8.1～ 令6.2.15	令5.5.15～ 令5.7.31	中～近世土坑6・井戸8・溝7・土壘墓1・掘立柱建物14・柵列2・地下式坑1
6	西部第一落合遺跡群(5)	技研コンサル(株) 佐野良平	令5.5.9～ 令5.11.24	令5.2.20～ 令5.5.8	古墳竪穴建物1・水田・畠、古代竪穴建物20・集石遺構・溝・土坑ほか
7	鶴光路油免遺跡	(有)毛野考古学研究所 高橋清文 松本喜臣	令5.7.11～ 令5.12.20	令5.5.29～ 令5.7.4	古墳Hr-FA下水田・平安As-B下水田、中世環濠遺構
8	南部拠点遺跡群No.13	技研コンサル(株) 前田和昭 曾根 裕	令5.12.12～ 令6.1.31	令5.10.31～ 令5.12.11	平安As-B下水田、中世溝・土坑
9	西善毘沙門遺跡	(有)毛野考古学研究所 井上 太 上原真澄	令5.11.8～ 令5.12.25	令5.12.26～ 令6.3.13	平安水田、中世溝・土坑・不明遺構
10	上細井中西部遺跡群	市教委 村越純子	令5.6.5～ 令6.3.15	平30.5.14～ 令4.3.11	縄文竪穴建物15・土坑101、弥生竪穴建物3、古墳2、古墳～古代竪穴建物308・掘立柱建物11・竪穴状遺構6・溝28・道路4・土坑144・井戸1ほか
11	江田村西No.2遺跡	(有)毛野考古学研究所 南田法正 松本喜臣	令4.12.19～ 令5.5.31	令4.10.10～ 令4.12.17	古墳竪穴建物12・畠、古代～中世溝4、中世掘立柱建物1ほか
1	高崎市 貝沢井ノ貝戸遺跡2次	(有)毛野考古学研究所 恋河内昭彦 松本喜臣	令5.1.17～ 令5.5.31	令5.1.5～ 令5.1.16	古代水田、古代～中世井戸1、古代～中世溝2
2	飯塚村内遺跡2次	(有)毛野考古学研究所 和久裕昭	令5.2.17～ 令5.7.31	令5.2.1～ 令5.2.16	古墳竪穴建物3
3	柴崎富士塚遺跡3次	(株)飯塚組 藤田 登	令5.3.20～ 令5.7.31	令5.1.19～ 令5.3.17	古代水田
4	柴崎東原遺跡3次	(株)測研 櫻井和哉	令5.3.30～ 令5.9.29	令4.12.12～ 令5.3.29	古代水田
5	中泉十王堂遺跡5次	(有)毛野考古学研究所 土井道昭	令5.4.19～ 令5.11.30	令5.3.1～ 令5.4.18	古墳竪穴建物6・溝1、古代～中世以降柵列、古代以降土坑7、中世以降竪穴状遺構1・土坑15・溝3・ピット204・畠1
6	中里見根岸遺跡5次	技研コンサル(株) 佐野良平	令5.6.2～ 令5.12.8	令5.3.20～ 令5.6.6	古墳竪穴建物1、古代竪穴建物10・溝1・井戸3・土坑10・ピット20、中世以降畠2
7	萩原柳ノ内遺跡	技研コンサル(株) 佐野良平	令5.9.1～ 令5.12.8	令5.6.1～ 令5.8.31	古墳前期水路1・Hr-FA洪水層下水田・溝2、古代水田
8	倉賀野薬師前遺跡	(株)測研 田中浩江	令6.1.5～ 令6.4.28	令5.11.6～ 令5.12.22	古墳竪穴建物1・中世溝12・井戸1・竪穴建物4・掘立柱建物5・土坑39・ピット223、近世土坑1
9	綿貫牛道遺跡2	市教委 大野義人	令5.4.1～ 令6.3.31	平27.2.12～ 平27.12.18	古墳竪穴建物1・溝4、古代竪穴建物1・溝5・井戸1、中近世溝3
10	綿貫伊勢遺跡2	市教委 大野義人	令5.4.1～ 令6.3.31	平27.2.12～ 平29.2.10	古墳竪穴建物31・溝5・集石遺構1、古代竪穴建物36・溝6・井戸1・集石遺構1、中近世溝8・土坑墓

番号	遺跡名	整理担当者	整理期間	調査期間	遺跡の内容
11	わたぬまこぼりまゑ 綿貫小林前遺跡 2	市教委 大野義人	令5.4.1～ 令6.3.31	平27.6.2～ 平28.3.18	古墳竪穴建物5・掘立柱建物1・溝2・ 井戸1・古代竪穴建物17・溝8・井戸1・ 中近世溝3・掘立柱建物2・道路状遺構2
12	すがやたかはた 菅谷高畑遺跡 1次	市教委 田辺芳昭 南雲芳昭	令5.4.1～ 令6.3.29	平12.5.22～ 平12.11.17、 平17.6.20～ 平18.3.20、 平18.6.6～ 平19.2.5、 平19.5.22～ 平20.3.19、 平20.6.13～ 平21.3.19、 平21.6.1～ 平22.1.13、 平22.6.1～ 平23.3.31、 平25.4.11～ 平25.9.11	古墳竪穴建物9・溝、古代竪穴建物87・ 井戸・溝、中世溝・火葬跡
13	かねこにやらい 金古如来古墳群 2次	市教委 山本ジェームズ	令5.4.1～ 令6.3.31	令4.7.19～ 令4.8.12	古墳円墳の周堀 5
1	きりゆうし 桐生市 なかざとしろ 中里後遺跡	市教委 新井雅幸	令5.4.1～ 令6.3.29	令4.8.19～ 令4.11.16	縄文竪穴建物1・土壇2、古墳竪穴建物 5、古代土壇3、時期不明ムロ2・柱穴 多数
2	あかぎじんじやまゑ 赤城神社前遺跡	市教委 新井雅幸	令5.4.1～ 令6.3.29	令4.11.25～ 令5.1.18	縄文竪穴建物1・土壇3、古代竪穴建物 10、時期不明土壇・柱穴・ムロ多数
1	いせさきし 伊勢崎市 いまいずみほんごうのみ 今泉本郷南遺跡	山下工業㈱ 関口信夫	令5.4.28～ 令5.9.30	令5.4.10～ 令5.4.27	古墳竪穴建物8、中世以降溝2・土坑2・ 井戸2
2	いせさきじょう 伊勢崎城跡	山下工業㈱ 青木利文	令5.10.5～ 令6.3.5	令4.6.28～ 令4.9.30	中・近世溝・井戸・竪穴・土坑・ピット・ 土壇墓・馬埋葬跡・掘立柱建物、近代以 降建物基礎・井戸・土坑・ピット・防空壕
3	きたまち 喜多町遺跡	(有)毛野考古学研究所 浅間 陽	令5.7.18～ 令5.12.15	令5.6.12～ 令5.7.13	縄文溝2、古墳～古代溝7、古墳以降土 坑2、近世以降井戸1・ピット33
4	しもたけし みやがいに 下武士・宮谷戸遺跡	(有)毛野考古学研究所 河野一也	令5.9.8～ 令6.3.15	令5.6.8～ 令5.7.22	縄文竪穴建物1、中世溝1
1	おわたし 太田市 おわたし 太田市内遺跡	市教委 長谷川幸男	令5.4.1～ 令6.3.31	令5.4.1～ 令6.3.31	確認調査
2	せらだ 世良田館跡	市教委 岩井直人	令5.4.27～ 令6.3.26	平2.4.9～ 平6.4.2	堀・掘立柱建物
3	こまがたじんじやほにわ 駒形神社墳輪窠跡	市教委 遠坂純伸	令5.4.27～ 令6.3.26	昭62.4.5～ 昭62.7.8	古墳輪窠跡
1	ぬまたし 沼田市 ぬまたし 沼田城跡	市教委 永井三郎	令5.4.1～ 令6.3.31	令4.5.16～ 令4.9.22	天守礎石の可能性のある石3基
2	はしのうえ たかのほら 林ノ上遺跡・高野原遺跡・佐々木 遺跡	市教委 向出博之	令5.4.1～ 令6.3.31	令5.4.1～ 令6.3.31	旧石器時代遺物集中ブロック3、縄文時 代陥穴604・竪穴建物3・石器製作跡1、 古墳円墳8・竪穴建物3、古代竪穴建物1
1	たてぼりし 館林市 おかの やしまえ おか 岡野・屋敷前・岡遺跡	市教委 奈良純一	令5.8.29～ 令5.9.8、 令5.12.18～ 令6.1.31	令5.4.25～ 令5.5.12	近現代土坑3・溝2
2	たてぼりし 館林市 たてぼりし 館林城跡・城下町、加法師遺跡	市教委 奈良純一	令5.8.29～ 令5.9.8、 令6.1.30～ 令6.1.31	令5.7.24～ 令5.8.7	古墳竪穴建物1、近現代1
3	こぼり 小林遺跡	市教委 奈良純一	令5.12.1～ 令5.12.8	令5.11.8～ 令5.11.24	古墳竪穴建物3、古代竪穴建物1

番号	遺跡名	整理担当者	整理期間	調査期間	遺跡の内容
4	おかの やしまま おか 岡野・屋敷前・岡遺跡	市教委 奈良純一	令6.3.5～ 令6.3.18	令6.2.5～ 令6.2.19	古墳竪穴建物2
5	しもし げんら 下志柄古墳	市教委 奈良純一	令5.12.12～ 令6.2.6	令4.8.31～ 令4.9.22	古墳1・溝3
6	まさはら 笹原遺跡	市教委 奈良純一	令5.12.12～ 令6.2.6	令5.1.23	—
7	こばやし 小林遺跡	市教委 奈良純一	令5.12.12～ 令6.2.6	令4.10.4～ 令4.11.26	竪穴建物4・溝7・土坑7
1	しほかわし 澁川市 いしはらにしゅうら 石原西浦遺跡	市教委 小林良光	令5.4.1～ 令6.3.29	昭59.11.20～ 昭60.8.15	古代集落、近世建物・井戸・水路・溜井・墓塚
1	ふじおかし 藤岡市 うしただ かわけちく 牛田・川除地区遺跡群	市教委 文挾健太郎	令5.4.1～ 令6.3.31	平30.5.21～ 令3.12.28	古墳～古代竪穴建物・掘立柱建物、土坑・ピット、溝、古代寺院
2	しもくりす いせづか 下栗須伊勢塚B遺跡	パリノ・サーヴェイ(株) 高野和弘	令5.4.26～ 令5.12.28	令5.2.20～ 令5.4.25	古墳～平安竪穴建物14、中世炉1ほか
1	あんなかし 安中市 かがづか 加賀塚遺跡	市みりよく創出部文化財課 関根史比古	令5.4.1～ 令6.3.28	令3.8.2～ 令4.2.28	縄文竪穴建物1、弥生竪穴建物11、古墳～古代竪穴建物38・溝1・土坑18・ピット6
2	さんぼんぎ 三本木IV遺跡	市みりよく創出部文化財課 関根史比古	令5.4.1～ 令6.2.22	令4.6.27～ 令4.7.29	古代竪穴建物4・土坑4
3	ひょうに 十二遺跡	市みりよく創出部文化財課 関根史比古	令5.7.24～ 令6.2.22	令5.1.23～ 令5.2.28	縄文時代竪穴建物2・土坑1
4	まちきた 町北遺跡	市みりよく創出部文化財課 鳥居貴庸	令5.9.1～ 令6.3.29	令5.4.1～ 令5.8.31	古代建物2・道路状遺構1・溝5・土坑150、中世土坑150
5	ごりけいせい おだけ 五料丙小竹遺跡	市みりよく創出部文化財課 関根史比古	令5.1.12～ 令6.3.29	令6.1.9～ 令6.1.12	古代竪穴建物1
1	みどり市 うらの ほくの なか 上ノ宿野中遺跡第2地点	市教委 萩谷千明	令5.5.10～ 令6.2.20	令5.4.12～ 令5.4.24	縄文中期後葉竪穴建物1、土坑1
2	みさわ 見沢I遺跡	市教委 萩谷千明	令5.10.5～ 令6.2.20	令5.9.13～ 令5.9.27	縄文土器・石器
3	きたやま 北山遺跡第13地点	市教委 萩谷千明	令5.12.13～ 令6.2.20	令5.11.10～ 令5.11.28	古代柱穴27
1	よしおかまち 吉岡町 きんちくせい 金竹西VI遺跡	(株)飯塚組 千葉孝之	令5.9.21～ 令5.12.31	令4.8.1～ 令4.9.20	古墳竪穴建物19、古代溝3・井戸2・土坑3
2	ながくぼ おおはた 長久保大畑IV遺跡	(有)毛野考古学研究所 山本千春	令5.4.1～ 令5.7.14	令4.12.12～ 令5.2.8	古墳時代溝3、古代竪穴建物20・掘立柱建物1・竪穴状遺構2、中世以降溝2・井戸1・大型土坑1
3	なかごしよ 中御所III遺跡	(株)飯塚組 千葉孝之	令5.8.1～ 令6.3.31	令4.6.27～ 令5.7.31	古代8、古代以降溝8・土坑7
1	ひしあがつままち 東吾妻町 かみいずる 上泉遺跡	技研コンサル(株) 高橋政充	令5.10.1～ 令6.3.31	令5.7.1～ 令5.9.22	弥生竪穴建物1、古墳竪穴建物3・竪穴状遺構2・溝4・ピット34、古代掘立柱建物跡1・柵列1・溝1・土坑6、近世竪穴状遺構2・畠1・溝5・土坑12
1	おおいずみまち 大泉町 せんごくせんこうじ ふきん 仙石専光寺付近遺跡	町教委 坂本泰斗 金子一穂 (有)毛野考古学研究所 志村 哲 宮本久子	令5.4.1～ 令5.9.29	—	縄文、古墳～平安集落、中世城館ほか

3 令和5年度群馬県内発掘調査報告書一覧

番号	報告書名	遺跡名	内容	発行年月日
1	群馬県地域創生部文化財保護課 群馬県内公共開発に伴う令和4年度県 内遺跡発掘調査報告書	県内遺跡	試掘・確認調査	令6.3.8
1	群馬県埋蔵文化財調査事業団 桐生新町水路跡	同左	水路1	令5.7.19
2	土塩中原遺跡	同左	縄文遺物集中1・土坑16・ピット32、平安復旧坑5、 中世復旧坑1	令5.7.19
3	前橋市0946・0635遺跡	同左	古墳竪穴建物3・掘立柱建物2・土坑48・ピット 159・溝104・水田・畠、古代竪穴建物16・土坑58・ ピット16・溝108・水田・畠、中近世溝280・墓跡 1・土坑6・畠、時期不明竪穴建物1・竪穴状遺構 2・溝22・土坑24・ピット94	令5.8.15
4	保渡田屋敷廻り遺跡	同左	4世紀後半以前土坑3・ピット19、古墳時代竪穴建 物1・古墳1、古代竪穴建物4・竪穴状遺構1、中 近世掘立柱建物5・柵1・溝14・井戸6・集石3・ 土坑75・ピット82・畠1	令5.8.23
5	下里見番場遺跡	同左	平安溝1・水田5、中世溝1、近世溝1	令5.9.28
6	下田島遺跡	同左	縄文～近世旧河道1	令5.10.27
7	古戸諏訪遺跡	同左	縄文土坑2・落ち込み状遺構2、時期不明焼土遺構 5	令5.11.29
8	下栗須津島B遺跡(27包蔵地)・中栗須 光明B遺跡(22包蔵地)	同左	〈下栗須津島B(27包蔵地)〉古代竪穴建物30・溝2・ 土坑36・ピット290、〈中栗須光明B(22包蔵地)〉時 期不明土坑1	令5.12.25
9	南蛇井北原田遺跡・蚊沼大神分遺跡	同左	〈南蛇井北原田〉縄文土坑4・遺物集中1、弥生溝 1、古墳～平安竪穴建物94・掘立柱建物3・土坑9・ ピット85・溝14、中近世掘立柱建物1・ピット89、 時期不特定土坑61・溝7、〈蚊沼大神分〉古代～中世 以降土坑5・溝17・落ち込み3・水田1・水田状遺構1・ 壇状遺構1	令6.1.29
10	綿貫堤西遺跡・綿貫堤遺跡・綿貫千葉 西遺跡・岩鼻塚合遺跡・岩鼻延養寺遺 跡・岩鼻天神遺跡・岩鼻赤城遺跡・岩 鼻坂上北遺跡	同左	〈綿貫堤西〉溝8・井戸1・地下式土坑1・土坑14・ 柱穴・鋤先痕、〈綿貫堤〉鋤先痕、〈綿貫千葉西〉竪 穴建物70・溝3・土坑52・柱穴列1・柱穴、〈岩鼻 塚合〉溝7・土坑1・鋤先痕、〈岩鼻延養寺〉竪穴状 遺構1・溝6・土坑3・柱穴、〈岩鼻天神〉竪穴建物 10・竪穴状遺構1・古墳周堀9・溝16・井戸2・土 坑14・柱穴、〈岩鼻赤城〉古墳周堀2・溝4・土坑10 ・柱穴、〈岩鼻坂上北〉溝2・土坑2・石垣2・柱穴	令6.2.20
11	小仁田遺跡	同左	弥生竪穴建物1、古代竪穴建物8・竪穴状遺構1、 中世火葬跡1、中近世掘立柱建物2・柵・柱穴列 9・溝11・井戸1・土坑296・ピット528	令6.2.22
12	川戸太田遺跡	同左	古代畠・土坑・溝・ピット、中近世畠・土坑・溝・ ピット・集石	令6.3.18
13	多田山東遺跡	同左	縄文竪穴建物1・土坑13、古墳囲い状遺構1・竪穴 建物29・竪穴状遺構2・掘立柱建物・方形周溝墓 1・溝4・土坑10・ピット8、古墳～古代竪穴状遺 構1・掘立柱建物4・柱穴列1・溝12、古代竪穴建 物40・竪穴状遺構4・掘立柱建物14・柱穴列1・溝 7・土坑24・ピット7・遺物集中1、古墳以降土坑 50、中世溝4・土坑1、中世以降溝4、近世以降溝 11・土坑5・ピット1、時期不明溝3・ピット853	令6.3.19
14	棚下込山遺跡	同左	縄文土坑31・ピット3・焼土遺構2、古墳～古代溝 4・土坑49・ピット1	令6.3.19

番号	報告書名	遺跡名	内容	発行年月日
15	宮久保遺跡・中遺跡	同左	〈宮久保〉縄文埋甕1・遺物集中2・古墳竪穴建物1・土坑2・ピット24・焼土1・中近世井戸1・溝11・焼土1・土坑46・ピット16、〈中〉弥生竪穴建物1・古墳方形周溝墓・竪穴建物5・古代土坑4・溝5・水田1・中近世竪穴状遺構2・溝4・石列2・土坑90・ピット78	令6.3.22
16	厚田中村遺跡(3)	同左	縄文竪穴建物1・竪穴状遺構1・土坑3・ピット1・弥生竪穴建物6・古墳竪穴建物13・大溝1・溝1・土坑7・ピット17、中世掘立柱建物11・溝17・土坑69・ピット388・列石遺構1・畠1・近世建物1・土坑1・畠10・溝13・道1・土手3・水田・復旧溝2	令6.3.27
1	前橋市 江田村西遺跡No.2	同左	古墳、平安、中世、近世、竪穴建物12・掘立柱建物1・土坑1・畠6・溝4・ピット46	令5.5.31
2	元総社蒼海遺跡群(91街区)	同左	縄文、奈良、平安、中世・竪穴建物11・溝2・土坑39・ピット34	令5.7.31
3	総社村東03遺跡	同左	古墳竪穴建物1・奈良竪穴建物3・掘立柱建物3・土器埋設遺構1・土坑36・ピット1・中世井戸1・ピット13・ピット群1	令5.9.30
4	西武第一落合遺跡群(5)	同左	古墳Hr-FA下水田・Hr-FA下畠・大溝、平安土坑・溝・ピット、古墳奈良平安竪穴建物・集石遺構・井戸・溝・土坑・ピット	令5.11.24
5	総社古墳群総括報告書	遠見山古墳、総社二子山古墳、愛宕山古墳、宝塔山古墳、蛇穴山古墳	古墳前方後円墳2・方墳3	令5.9.8
6	鶴光路油免遺跡	同左	平安水田、中近世溝8・土坑3・ピット7・凹み列1	令5.12.20
7	元総社蒼海遺跡群(147)	同左	古墳～中近世礎石建物・竪穴建物・溝・道路状遺構・井戸	令6.3.29
8	上野国府等範囲内容確認調査報告書Ⅱ 推定上野国府～令和4年度調査報告～	推定上野国府	古墳竪穴建物10、古代礎石建物1・柱穴列1・溝2・竪穴建物40・土坑・ピット、中世大溝1・井戸1・土坑・ピット	令6.3.22
9	南部拠点地区遺跡群No.13	同左	平安As-B下水田・溝7・歩行列5・中・近世溝1・土坑23	令6.1.31
10	元総社蒼海遺跡群(148)	同左	奈良区画溝1・中近世掘立柱建物7・竪穴状遺構7・土坑36・井戸6・溝5・ピット507	令6.3.5
11	元総社蒼海遺跡群(149)	同左	中近世掘立柱建物・地下式坑・土坑・井戸・溝・ピット	令6.3.25
12	西善毘沙門遺跡	同左	平安水田、中近世溝36・土坑1	令6.3.6
13	上細井中西部遺跡群	同左	縄文竪穴建物15・土坑101、弥生竪穴建物3・古墳2、古墳～平安竪穴建物308・掘立柱建物11・竪穴状遺構6・溝28・道路4・土坑144・井戸1・落ち込み7・ピット556	令6.3.15
1	高崎市 宮元町遺跡	同左	古代水田、中世溝2・井戸1・柱穴1・近世高崎城下町遺構焼土坑10・池状遺構1・溝4・土坑多数	令5.5.10
2	貝沢井ノ戸遺跡2	同左	古代水田、古代～中世井戸1、古代～中世溝2	令5.5.31
3	柴崎東原遺跡3	同左	古代水田	令5.9.29
4	柴崎富士塚遺跡3	同左	古代水田	令5.7.31
5	飯塚村内遺跡2	同左	古墳竪穴建物3	令5.7.31
6	中泉十王堂遺跡5	同左	古墳竪穴建物6・溝1、古代～中世以降柵列、古代以降土坑7、中世以降竪穴状遺構1・土坑15・溝3・ピット204・畠1	令5.11.30
7	中里見根岸遺跡5	同左	古墳竪穴建物1、古代竪穴建物10・溝1・井戸3・土坑10・ピット20、中世以降畠2	令5.11.30
8	萩原柳ノ内遺跡	同左	古墳前期水路1・Hr-FA洪水層下水田・溝2、古代水田	令5.12.15

番号	報告書名	遺跡名	内容	発行年月日
9	綿貫遺跡群 1	綿貫牛道遺跡 2、綿貫伊勢遺跡 2、綿貫小林前遺跡 2	〈綿貫牛道 2〉古墳竪穴建物 1・溝 4、古代竪穴建物 1・溝 5・井戸 1、中近世溝 3、〈綿貫伊勢 2〉古墳竪穴建物 31・溝 5・集石遺構 1、古代竪穴建物 36・溝 6・井戸 1・集石遺構 1、中近世溝 8・土坑墓、綿貫小林前 2〉古墳竪穴建物 5・掘立柱建物 1・溝 2・井戸 1、古代竪穴建物 17・溝 8・井戸 1、中近世溝 3・掘立柱建物 2・道路状遺構 2	令 6.3.31
10	令和 5 年度市内遺跡 試掘・確認調査・緊急発掘調査報告書	金古如来古墳群 2 次、試掘・確認調査、工事立合	金古如来古墳群 2 次：古墳円墳の周堀 5、試掘・確認調査および工事立会の概要	令 6.3.31
11	菅谷遺跡群 3	菅谷高畑遺跡 1 次	古墳竪穴建物 9・溝、古代竪穴建物 87・井戸・溝、中世溝・火葬跡	令 6.3.29
1	桐生市 桐生市内遺跡発掘調査報告書 令和 3・4 年度調査一	天笠南 N 遺跡、桐生市内遺跡試掘・確認調査	古墳竪穴建物 2、古代竪穴建物 5、中世井戸 1 ほか	令 6.3.15
1	伊勢崎市 今泉本郷南遺跡	同左	古墳竪穴建物 8、溝 1、土坑 2、井戸 2	令 5.9.30
2	喜多町遺跡 6	喜多町遺跡	縄文溝 2、古墳～古代溝 7、古墳以降土坑 2、近世以降井戸 1・ピット 33	令 5.12.15
3	伊勢崎城跡 4・5	伊勢崎城跡	中・近世溝・井戸・竪穴・土坑・ピット・土坑墓・馬埋葬跡・掘立柱建物、近代以降建物基礎・井戸・土坑・ピット・防空壕	令 6.3.5
4	下武士・宮谷戸遺跡	同左	縄文竪穴建物 1、中世溝 1	令 6.3.15
5	令和 3 年度市内遺跡確認調査報告書	独鈷田 II 遺跡外 47 遺跡	確認調査	令 6.3.15
1	太田市 市内遺跡 19	市内遺跡	令和 4 年度の市内遺跡確認調査	令 6.3.15
2	高林鶴巻古墳群(令和 4 年度)	高林鶴巻古墳群	古墳竪穴建物 4・古墳 6・土坑 11・溝 1・竪穴状遺構 1・不明遺構 1	令 5.8.31
3	鳥山寺中遺跡	同左	古墳竪穴建物 1・土坑 1、中近世溝 6、不明ピット 22・柵列 1	令 6.3.29
1	沼田市 沼田城跡 石垣調査報告書	沼田城跡	本丸東面石垣・西櫓台石垣の測量調査、地中レーダー探査	令 6.3.22
2	林ノ上遺跡・高野原遺跡・佐々木遺跡 1	林ノ上遺跡・高野原遺跡・佐々木遺跡	縄文陥穴・石器製作址、古墳	令 6.3.15
1	館林市 館林市内遺跡発掘調査報告書	岡野・屋敷前・岡遺跡	近世土坑 2、近現代溝 1	令 6.3.20
		下志柄古墳	古墳 1・古墳溝 2	令 6.3.20
		笹原遺跡	—	令 6.3.20
		野辺地区試掘・確認調査	弥生～古代竪穴建物 4・溝 7・土坑 7	令 6.3.20
1	澁川市 石原西浦遺跡	同左	古代集落、近世建物・井戸・水路・溜井・墓壇	令 6.3.29

番号	報告書名	遺跡名	内容	発行年月日
2	澁川市内遺跡17	下遠原遺跡、上遠原遺跡 石原西浦遺跡 有馬条里跡 諏訪神社西遺跡 北町遺跡 辻原遺跡 関越分郷八崎遺跡、 十二ノ上遺跡 空沢遺跡O地点 K0111遺跡 田尻遺跡 真壁向山遺跡、大林遺跡 半田築地前遺跡、 上三原田東峯遺跡 赤城町北赤城山内試掘 半田中原・南原遺跡 箱田遺跡群、下箱田諏訪 遺跡	令和4年度市内遺跡範囲確認調査・試掘調査・工事 立会報告	令6.3.15
1	藤岡市 牛田廃寺跡	同左	古代基壇建物1・整地跡2・堅穴建物13・溝2	令6.2.28
2	E32 川除屋敷裏遺跡 集落編	川除屋敷裏遺跡	古墳堅穴建物176、古代堅穴建物203・道路状遺構1	令6.3.21
3	B44 下栗須伊勢塚B遺跡	下栗須伊勢塚B遺跡	古墳堅穴建物4、古代堅穴建物10・炉1	令5.12.28
4	市内遺跡30		令和5年度市内開発に伴う試掘確認調査	令6.3.14
1	安中市 三本木IV遺跡	同左	堅穴建物4・土坑4	令6.2.22
2	十二遺跡	同左	堅穴建物2・土坑1	令6.2.22
3	五料丙小竹遺跡	同左	堅穴建物1	令6.3.29
1	みどり市 みどり市内遺跡13	清水西丘遺跡第5地点、 元屋敷遺跡第14地点、向 山遺跡周辺部、笠懸町鹿 旧字丸山南地内、馬見岡 遺跡第17地点、上ノ宿野 中遺跡第1地点、大畑遺 跡第3地点	〈清水西丘遺跡第5地点〉柱穴状遺構、〈元屋敷遺跡 第14地点〉縄文土坑3、柱穴状遺構39、平安堅穴建 物1、〈向山遺跡周辺部〉遺構無し、〈笠懸町鹿旧字 丸山南地内〉遺構無し、〈馬見岡遺跡第17地点〉平安 堅穴建物1、〈上ノ宿野中遺跡第1地点〉縄文柱穴状 遺構4、〈大畑遺跡第3地点〉平安土坑1	令6.3.24
1	吉岡町 金竹西VI遺跡	同左	古墳堅穴建物19、古代溝3・井戸2・土坑3	令5.12.31
2	長久保大畑IV遺跡	同左	古墳時代溝3、古代堅穴建物20・掘立柱建物1・堅 穴状遺構2、中世以降溝1・井戸1・大型土坑1	令5.7.14
3	中御所III遺跡	同左	古代8、古代以降溝8・土坑7	令6.3.31
1	下仁田町 荒船風穴蚕種貯蔵所跡 調査報告書14	荒船風穴蚕種貯蔵所跡・ 春秋館跡	令和5年度実施事業、各種観測結果	令6.3.31
1	中之条町 東谷風穴蚕種貯蔵所跡 調査報告書6	東谷風穴蚕種貯蔵所跡	明治末～昭和の中頃風穴、石積解体	令6.3.25
1	長野原町 町内遺跡23	羽根尾字羽根尾、北軽井 沢字大屋原、長野原字遠 西、長野原字坪井	遺構なし	令6.3.10
1	碓氷村 鎌原遺跡	同左	天明三年埋没村落鎌原村の保存目的調査	令6.3.29
1	東吾妻町 上泉遺跡	同左	弥生堅穴建物1、古墳堅穴建物3・堅穴状遺構2・ 溝4・ピット34、古代掘立柱建物1・柵列1・溝1・ 土坑6、近世堅穴状遺構2・畠1・溝5・土坑12	令6.3.31

4 令和5年度群馬県内発掘調査現地説明会・関連行事など一覧

番号	遺跡名・行事名	場所	実施年月日	主催・共催	内容	見学者数
1	前橋市 阿久沢家住宅見学会	阿久沢家住宅	令5.11.23	市教委	耐震対策工事中の阿久沢家住宅の様子を見学	28
2	座繰り・桑の木クラフト体験	前橋市蚕糸記念館	令5.10.14、 10.29、11.3	市教委	座繰り体験、桑の木でキーホルダー作成	176
3	新出土文化財展2023	臨江閣1階 西洋間	令5.10.31～ 令5.11.12	市教委	令和4年度発掘調査における出土品の展示	5,914
4	旧関根家住宅現地説明会	旧関根家住宅	令5.8.19	市教委	茅葺屋根葺き替え改修工事に伴う現地説明会	33
5	小学生夏休み考古学教室	総社歴史資料館	令5.7.27～ 令5.8.25	市教委	埴輪・勾玉・古代鏡などの古代グッズづくり	94
6	まえばし古墳の教室	総社歴史資料館	令5.12.14～ 令6.2.9	市教委	埴輪・古代タイル・チョコレート鏡の体験学習	48
7	赤城山ろく里山学校事業	大胡城跡ガイダンス施設	令5.10.21	市教委	竹細工体験・大胡城跡スタンプラリー	14
8	大胡城跡巡りガイドツアー	大胡城跡	令5.11.19	市教委	大胡歴史研究会による大胡城跡ガイドツアー	15
9	前橋・高崎連携事業文化財展	総社歴史資料館(前橋会場)	令6.1.27～ 令6.2.4	前橋市教委・ 高崎市教委	令和5年度展示テーマ「文字だらけー出土文字資料からみた古代の前橋・高崎ー」	1,235
10	上野国府等範囲内容確認調査・元総社蒼海遺跡群(150)現地説明会	元総社町発掘調査現場	令5.10.29	市教委	発掘調査現場の見学、出土遺物の展示	98
1	高崎市 倉賀野浅間山古墳遺跡説明会	倉賀野公民館	令5.7.16	市教委	発掘調査成果報告および遺物展示	232
2	倉賀野浅間山古墳調査成果展示	かみつけの里博物館ロビー	令5.7.20～ 令5.7.30	市教委	発掘調査成果パネルおよび遺物展示	—
3	漆山古墳現地説明会	高崎市下佐野町	令5.8.26	市教委	古墳概要、発掘調査成果の説明	58
4	多胡碑周辺遺跡現地説明会	高崎市吉井町池	令5.10.21	市教委	発掘調査成果について公開、解説	162
5	北谷遺跡発掘調査報告会	高崎市市民活動センター・ソシアス	令5.11.19	市教委	発掘調査の成果報告	133
6	前橋・高崎連携事業文化財展(高崎会場)	高崎シティーギャラリー	令6.1.13～ 令6.1.21	高崎市教委、 前橋市教委	令和5年度展示テーマ「文字だらけー出土文字資料からみた古代の前橋・高崎ー」	596
1	伊勢崎市 パネル展ー宮柴前遺跡ー	市清掃リサイクルセンター21	令5.4.1～ 令6.3.31	市教委	天明3年の浅間山大噴火により埋没した水田、畠、水路、人の足跡等の写真パネルを展示	—
2	埋蔵文化財パネル展「伊勢崎市の遺跡・古代寺院編」	伊勢崎市図書館	令5.10.14～ 令5.11.12	市教委	史跡十三宝塚遺跡、上植木廃寺のパネルを展示	—
3	埋蔵文化財パネル展「伊勢崎市の遺跡・古代寺院編」	市民サービスセンター宮子	令5.11.20～ 令5.12.17	市教委	史跡十三宝塚遺跡、上植木廃寺のパネルを展示	1,886
4	埋蔵文化財パネル展「伊勢崎市の遺跡・古代寺院編」	赤堀歴史民俗資料館	令6.1.6～ 令6.1.28	市教委	史跡十三宝塚遺跡、上植木廃寺のパネルを展示	132
1	太田市 出前考古学教室	ぐんま国際アカデミー中高等部 ライホール	令5.12.8	市教委	歴史資料の解釈と基本的な考え方に関する講義	82

番号	遺跡名・行事名	場所	実施年月日	主催・共催	内容	見学者数
1	沼田市 埋蔵文化財調査センター 施設見学会	沼田市埋蔵文化財 調査センター	令6.2.11、 12	沼田市	施設見学、業務の紹介、遺物展示	73
1	渋川市 夏休み子ども文化財教室	渋川市埋蔵文化財 センター	令5.7.24～ 令5.7.29	市教委	粘土勾玉づくり	375
2	市民まなびの日 「なんでも遺跡教室」	渋川市民会館	令5.11.4	市教委	地中レーダー探査結果パネル展示・市内 遺跡出土遺物展示、粘土勾玉づくり	251
3	冬休み親子文化財教室	渋川市埋蔵文化財 センター	令5.12.23・ 25・26	市教委	粘土勾玉づくり	139
4	企画展 「しづかわの縄文土器」	渋川市役所本庁舎 市民ホール	令6.2.26～ 令6.3.13	市教委	渋川市内出土縄文土器及び解説パネルの 展示	1,314
1	藤岡市 白石稲荷山古墳現地説明 会	白石稲荷山古墳	令5.10.8	市教委	白石稲荷山古墳確認調査の現地説明会	70
2	秋季企画展「古墳時代の 祈りのカタチ」	藤岡歴史館	令5.10.7～ 令5.12.3	市教委	白石稲荷山古墳と群馬の石製模造品を紹 介	2,308
3	春季企画展「しかくい古 墳をまるくする」	藤岡歴史館	令6.3.23～ 令6.5.12	市教委	笹川沿岸地区遺跡群の調査成果②として 古墳の作り替えを紹介	2,554
1	安中市 職員が語る築瀬二子塚	築瀬二子塚	令5.11.19	安中市みりよく 創出部	講演会・遺跡見学会	40
1	みどり市 みどり市の歴史と文化財	岩宿博物館企画展 示室	令5.4.29～ 令5.7.17	市教委(岩宿博 物館)	岩宿時代から平安時代までの市内に所在 する遺跡の出土品を展示	4,147
2	岩宿人のくらしをさぐる	岩宿博物館企画展 示室	令5.7.29～ 令5.9.24	市教委(岩宿博 物館)	石器やその他の道具を復元し、使い方や 実際のくらしの様子をわかりやすく展示	3,462
3	第78回企画展『岩宿Ⅱ石器 文化からみた関東地方』	岩宿博物館企画展 示室	令5.10.7～ 令5.11.23	市教委(岩宿博 物館)	岩宿Ⅱ石器文化当時の自然環境と生活実 態を考える	2,962
4	第79回企画展『相澤忠洋 と古代瓦研究』	岩宿博物館企画展 示室	令6.1.27～ 令6.3.10	市教委(岩宿博 物館)	相澤忠洋が調査・研究した古代瓦に焦点 をあてる	1,575
1	榛東村 夏やすみはみみかざりか んであそぼう！	榛東村耳飾り館	令5.7.1～ 令5.8.31	榛東村耳飾り館	勾玉づくり・古墳見学ツアー（北原古墳 群）等の体験学習	46
2	下新井遺跡資料展関連 イベント	榛東村耳飾り館	令5.10.14～ 令5.12.17	榛東村耳飾り館	展示解説会、手ぬぐい作成等の体験学習	3
3	J OMON ワークショップ	榛東村耳飾り館	令5.12.10	榛東村耳飾り館	黒曜石の鎌づくり	24
1	吉岡町 現地説明会	県指定史跡 南下古墳群	令5.8.11	吉岡町文化財 センター	現地説明会 石室の見学	10
1	下仁田町 サマースクール2023	下仁田町歴史館	令5.8.3	下仁田町歴史館	火起こし体験	7
1	中之条町 東谷風穴現地説明会	東谷風穴	令5.7.28	町教委	現地説明会	3
1	長野原町 土器ドキ*ウィーク2023	やんば天明泥流 ミュージアム	令5.4.29～ 令5.5.14	町教委(やんば 天明泥流ミュー ジウム)	土器のスケッチ・塗り絵、土器を触る体 験他	569
2	天明噴火240年連続講座・ 資料特別公開	やんば天明泥流 ミュージアム	令5.6.10～ 令5.8.20	町教委(やんば 天明泥流ミュー ジウム)	天明噴火をテーマにした講座3回と未発 表資料の公開	—
3	夏休み体験学習 プログラム	やんば天明泥流 ミュージアム	令5.7.29～ 令5.7.31、 令5.8.1～ 令5.9.21	町教委(やんば 天明泥流ミュー ジウム)	江戸時代の道具で油しぼり、「十分盃」の 模型づくり、勾玉づくり	21

番号	遺跡名・行事名	場所	実施年月日	主催・共催	内容	見学者数
4	長野原町文化財講演会 「ここまでわかった！居家以岩陰遺跡」	長野原町住民総合センター	令5.9.9	國學院大學・町教委	國學院大學教授・谷口康浩氏による講演	174
5	居家以岩陰遺跡 第9次調査 現地説明会	居家以岩陰遺跡	令5.9.10	國學院大學・町教委	國學院大學考古学研究室による学術調査の現地説明会	120
6	秋季企画展vol.1 長野原の縄文土器	やんば天明泥流ミュージアム	令5.9.16～ 令5.11.5	町教委(やんば天明泥流ミュージアム)	長野原町発掘の未公開縄文土器の展示、人気投票など	1,760
7	やんば天明泥流ミュージアム学芸員講座	やんば天明泥流ミュージアム	①令5.11.11、 ②令5.12.9、 ③令6.1.13、 ④令5.2.10、 ⑤令5.3.9	町教委(やんば天明泥流ミュージアム)	当館学芸員による5回連続講座 ①『旧狩宿茶屋本陣－本質的価値と今後について－』 ②『1108天仁の浅間山大噴火－歴史が動いた・地域が変わった』 ③『浅間高原・近代化の原点 「吾妻牧場」の痕跡を訪ねて』 ④『科学の力で知る・守る－長野原町の出土品を例に』 ⑤『泥流から救出された人たち－吾妻川・利根川での救助活動－』	148
1	つまていむら 鎌原村 鎌原遺跡・現地説明会	鎌原遺跡	令5.8.6	村教委	旧鎌原村延命寺跡遺跡の発掘現場と鎌原地内	103
1	ひしあがつままち 東吾妻町 発掘体験	上泉遺跡発掘調査現場	令5.7.29	町教委	小学生とその保護者を対象とした上泉遺跡での発掘調査体験	10
2	浅間山大噴火より240年「天明三年」を語り継ぐ	東吾妻町中央公民館	令5.7.8	町教委・東吾妻町	町内の災害遺跡を中心とした天明三年浅間山大噴火に関わる町の歴史講演	70
3	第6回岩櫃城フォーラム「岩櫃城を捉えなおす」	東吾妻町コンベンションホール	令6.2.4	東吾妻町・町教委	国指定史跡である岩櫃城跡を中心とした歴史フォーラム	246
1	たまむらまち 玉村町 埴輪作り教室	玉村町文化センター	①令5.7.21 ②令5.7.25	町教委(玉村町歴史資料館)	小学生対象作品制作(7.21、25)作品展示(8.16～20)	28
2	勾玉作り教室	玉村町文化センター	令5.8.1	町教委(玉村町歴史資料館)	小学生対象勾玉作り教室	35
3	アンギン編み教室	玉村町文化センター	令5.8.17	町教委(玉村町歴史資料館)	小学生対象アンギン編み教室	12
4	歴史講座	玉村町文化センター	令6.3.23	町教委(玉村町歴史資料館)	歴史講座「樋越薬師遺跡・西上之宮遺跡・東上之宮遺跡について－令和5年度の発掘調査－」	72
1	おおいずみまち 大泉町 「第14回大泉かるた原画展」	大泉町公民館	令6.1.25～ 令6.1.28	町教委	町の歴史・文化等を詠んだ「大泉かるた」の原画展	165

公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 年報43

令和6(2024)年9月30日 発行

編集・発行/公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

〒377-8555 群馬県渋川市北橘町下箱田784番地2

電話 0279-52-2511(代表)

URL <http://www.gunmaibun.org/>